Canon

Satera

MF7450N/MF7350N/MF7330

コピーガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

下記はオプションに添付されている取扱説明書も含んでいます。購入された製品、システム構成によっては、お手元にない取扱説明書（ご利用になれない機能）があります。

 このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められています。

目的	ガイド	媒体
• 基本的な操作、便利な使いかたを早く簡単に知るには	かんたん操作ガイド	
• 基本的な使いかたを知るには • 困ったときには	ユーザーズガイド	
• コピーの使いかたを知るには	コピーガイド（本書）	
• 送信機能／ファクスの使いかたを知るには	送信／ファクスガイド	
• CARPS2 プリンタ機能の使いかたを知るには	CARPS2 プリンタガイド	
• リモート UI の使いかたを知るには	リモート UI ガイド	
• ネットワークとの接続や設定について知るには	ネットワークガイド	
• Network ScanGear ドライバのインストールのしかたなどについて知るには	Network ScanGear ユーザーズガイド	
• プリンタドライバのインストールのしかたなどについて知るには	CARPS2 ソフトウェアガイド	
• ファクスドライバのインストールのしかたなどについて知るには	ファクスドライバガイド	

●PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムにAdobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
●本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
●本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。

本書の構成について

第 1 章 コピーについて

第 2 章 基本的なコピーの使いかた

第 3 章 便利なコピーの使いかた

第 4 章 使いかたにあわせた仕様の設定

第 5 章 付録

機能組み合わせ表、索引を記載しています。

目次

第 3 章　便利なコピーの使いかた

第 4 章　使いかたにあわせた仕様の設定

第 5 章　　付録

はじめに

このたびはキヤノン Satera MF7450N/MF7350N/MF7330 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- タッチパネルディスプレイ上のキー：[キー名称]

  例：　[キャンセル]
  　　　[閉じる]

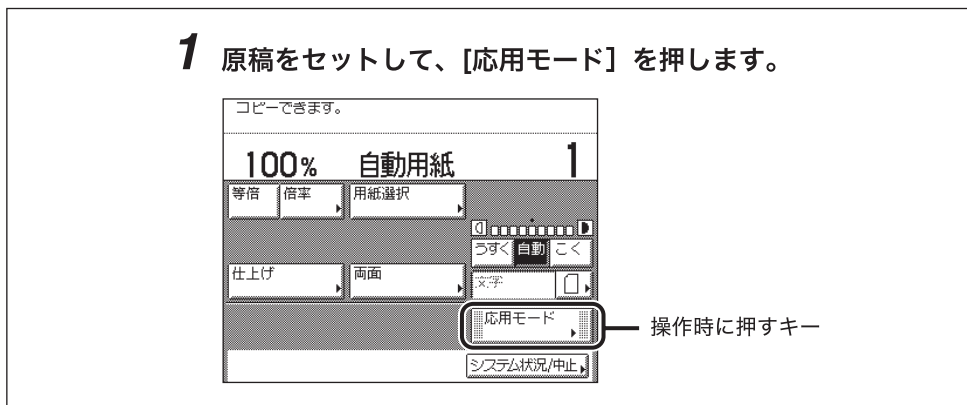
- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>＋（キー名称）

  例：　（スタート）
  　　　（ストップ）

画面について

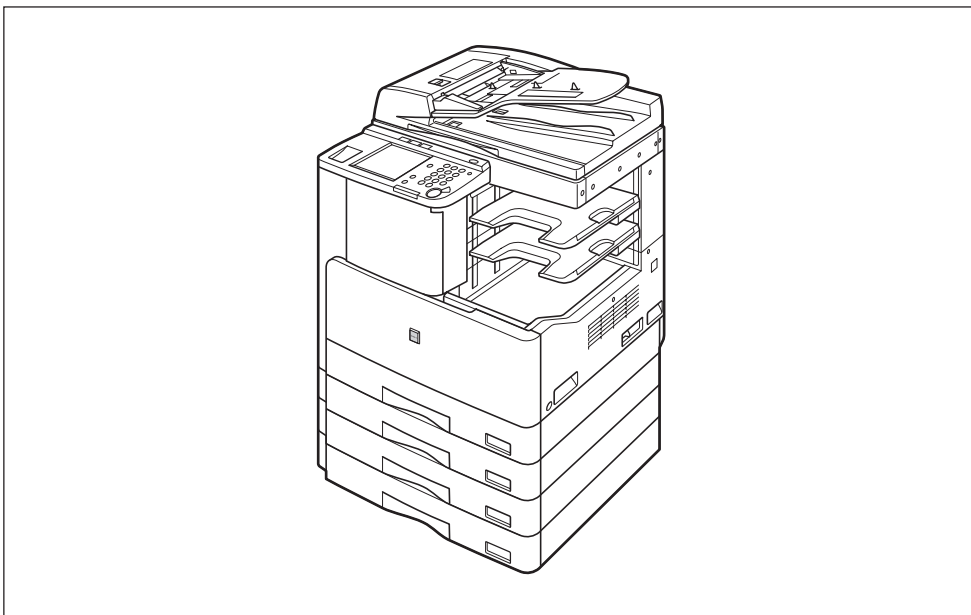
本書で使われている画面は、特にお断りがない限り Satera MF7450N にオプションのフィニッシャー U2、フィニッシャー用追加トレイ・C1、両面ユニット・B1、3 段カセットユニット・AF1 が装着され、シンプル SEND 拡張キットを有効にした場合のものです。

アクセサリ、オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、本製品の画面には表示されませんが、ご了承ください。

操作時に押すキーの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り Satera MF7450N にオプションのフィニッシャー U2、フィニッシャー用追加トレイ・C1、両面ユニット・B1、3 段カセットユニット・AF1 が装着された場合のものです。

規制について

商標について

Canon、Canon ロゴ、Satera はキヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1

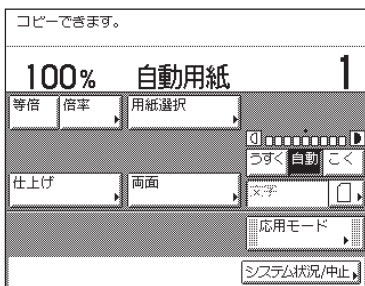
CHAPTER

コピーについて

おもなコピー機能と基本的な操作について説明しています。

こんなことができます

本製品を使っての操作は、おもにタッチパネルディスプレイから行います。タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従ってキーを押していくと、本製品のコピー機能を活用することができます。

いろいろなコピー機能

コピー基本画面
コピー機能を選択したときに表示される左の画面をコピー基本画面といいます。

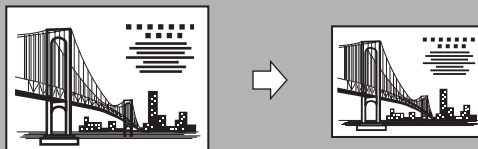
用紙選択

→ P.1-14

用紙のサイズを選択するときに押します。

倍率

→ P.2-6

倍率を設定するときに押します。

等倍

→ P.2-6

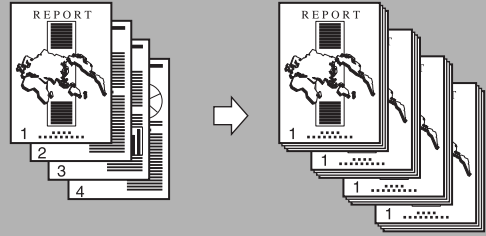
原稿と同じサイズでコピーするときに押します。

仕上げ

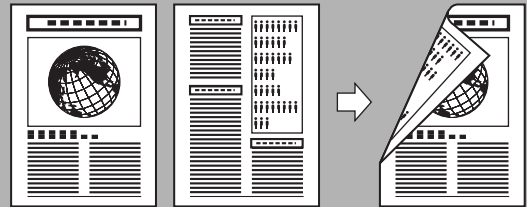
→ P.2-11

ソート、グループ、ステイプルソートなどを設定するときに押します。

［ソート（1 部ごと）］を選択した場合

両面

→ P.2-19

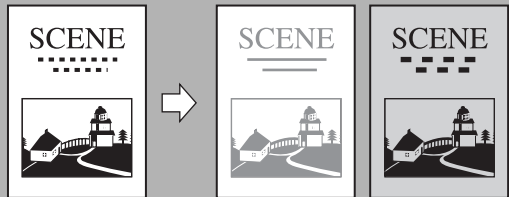
両面を設定するときに押します。片面／両面の原稿やブック原稿を用紙の表裏に、また両面原稿を片面にコピーすることができます。

［片面▶両面］を選択した場合

うすく　自動　こく

→ P.2-2

コピー濃度を手動で調節するときに、［うすく］または［こく］を押します。自動濃度調整を設定または解除するときには［自動］を押します。

文字

→ P.2-3

画質（文字のみの原稿、文字／写真混在の原稿、写真のみの原稿など）を選択してコピーするときに押します。

文字モード　文字／写真モード　写真モード

RES●RT PLAN

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together. Aptly nicknamed "Tropical Forests under the sea", these spots of breathtaking beauty serve as home to countless varieties of life, and to us of the land, this alluring, dream-like world forms a tropical paradise filled with romance.

RES●RT PLAN

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together.

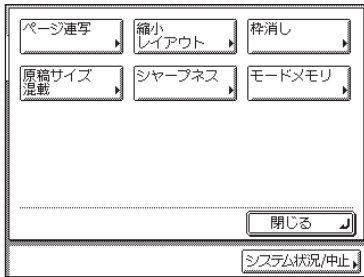
応用モード

→ 第 3 章

応用モードを選択するときに押します。

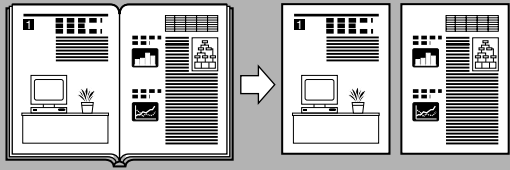
システム状況/中止

→ ユーザーズガイド

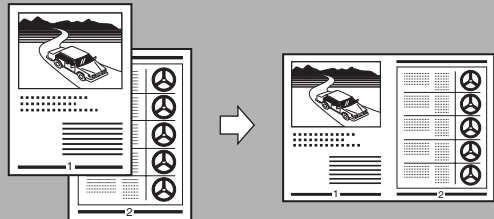
コピージョブ状況の確認やコピーの順番を変更したり、中止するときに押します。

応用モード画面

コピー基本画面から、［応用モード］を押すと、応用モード画面が表示されます。この画面にはコピーで利用することができる応用機能が表示されます。機能を選択した場合、機能によってはさらに詳細設定する画面が表示されます。応用モード画面の［閉じる］を押すと、コピー基本画面に戻ります。

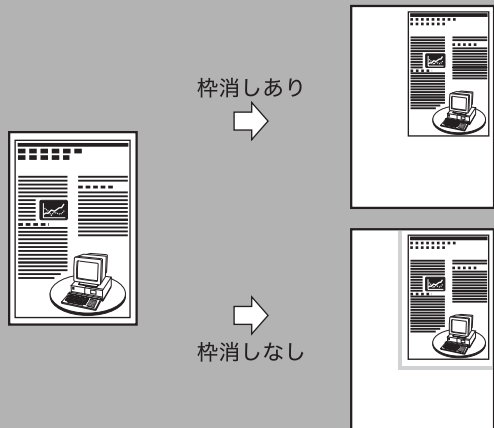
→ P.3-4

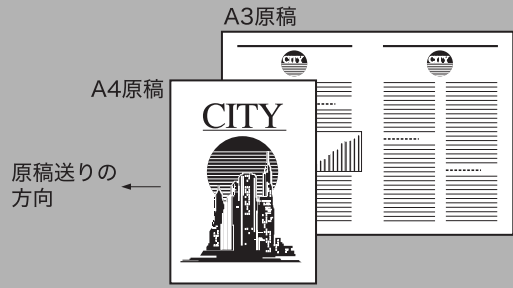
ブック原稿の左右ページを別べつの用紙にコピーするときに押します。

→ P.3-6

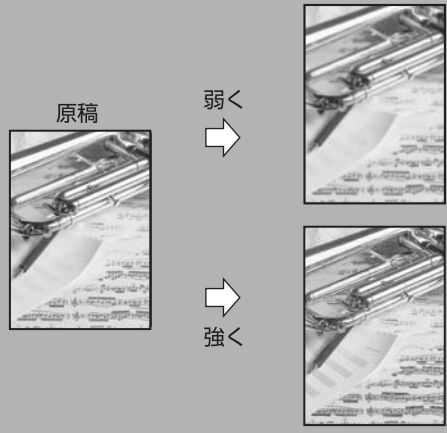
2 枚、4 枚の原稿を自動的に縮小して、1 枚の用紙の片面、両面にコピーするときに押します。

［2 in 1］を選択した場合

→ P.3-10

コピーに写る原稿の影や枠線、パンチ穴などを消すときに押します。

［原稿枠消し］を選択した場合

→P.3-18

異なるサイズの原稿を同時にセットしてコピーするときに押します。

→P.3-20

コピーされた画像をくっきりさせるときに押します。

モードメモリ

→P.3-22

コピーモードを登録したり、呼び出すときに押します。

コピー操作の流れ

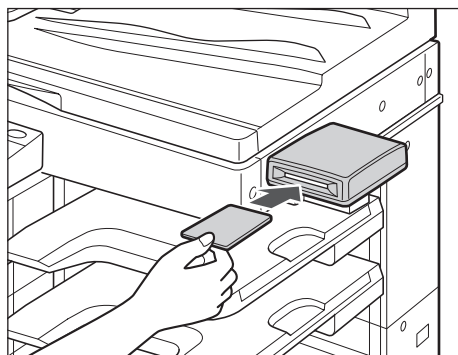
コピーの基本的な操作の流れを概説します。

メモ　以下の項目については「ユーザーズガイド」を参照してください。
・主電源と操作部電源について（➞ユーザーズガイド「第 1 章　お使いになる前に」）
・日常のメンテナンス（➞ユーザーズガイド「第 7 章　日常のメンテナンス」）

1　タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されたら、メッセージに従って操作します。

メッセージが表示されない場合は、手順 2 に進んでください。

●「コントロールカードをセットしてください。」と表示された場合

❑ オプションのカードリーダ -E1 にコントロールカードをセットします。

基本画面が表示されます。

メモ　オプションのカードリーダ -E1 の詳細については、ユーザーズガイド「第 3 章　オプション機器について」を参照してください。

●「部門IDと暗証番号をテンキーで入力してください。」と表示された場合

❑ ［部門ID］を押したあと、部門IDを⓪～⑨（テンキー）で入力します。

❑ ［暗証番号］を押したあと、暗証番号を⓪～⑨（テンキー）で入力します。

❑ ⓘ（認証）を押します。

基本画面が表示されます。

メモ
- 部門別IDと暗証番号が設定されていない場合、この画面は表示されません。
- 部門別ID管理の詳細については、ユーザーズガイド「第6章　システム管理設定」を参照してください。

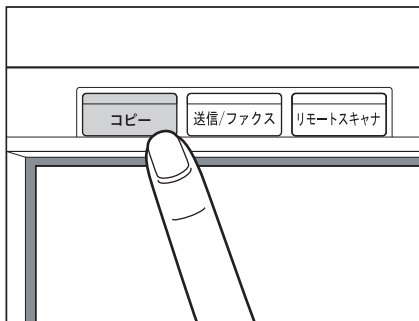
●「ユーザIDと暗証番号を入力してください。」と表示された場合

❑ ［ユーザID］を押したあと、部門IDを⓪～⑨（テンキー）またはタッチパネルディスプレイのキーボードで入力します。

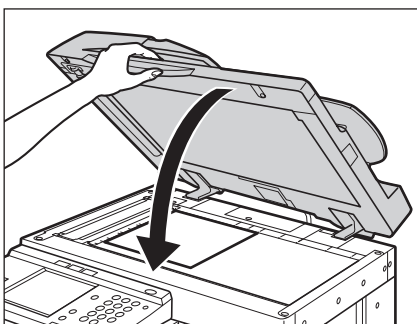
❑ ［暗証番号］を押したあと、暗証番号を⓪～⑨（テンキー）またはタッチパネルディスプレイのキーボードで入力します。

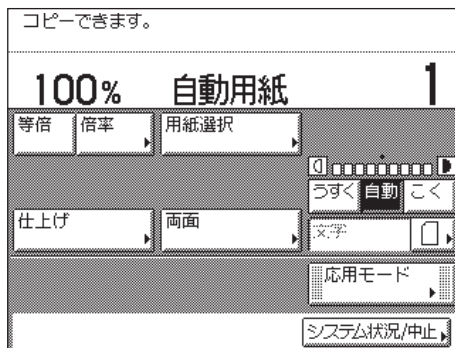
❑ ⓘ（認証）を押します。

基本画面が表示されます。

2 コピー（コピー）を押します。

3 原稿をセットします。

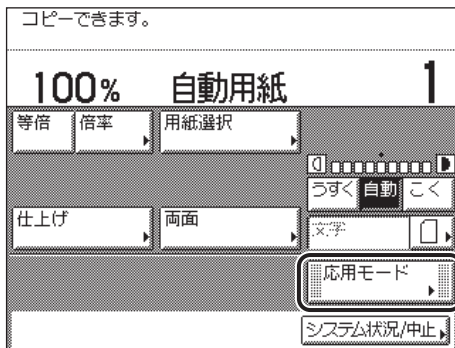
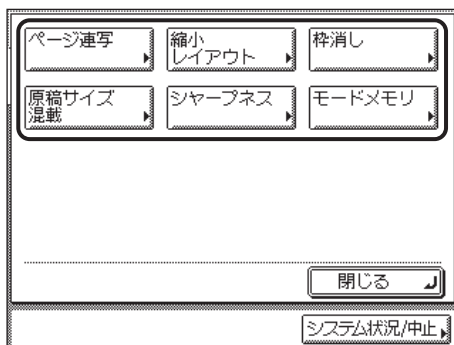
メモ　原稿をセットする方法は、ユーザーズガイド「第 2 章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

4 フィーダを閉じます。

用紙サイズが自動判別されます。自動判別された用紙サイズが適切でない場合には［用紙選択］（➞ P.1-14）を押して、コピーする用紙サイズを選択してください。

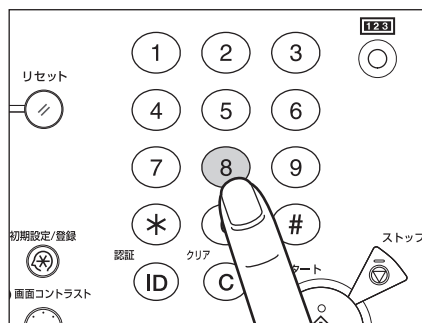
5 コピー基本画面でコピーモードを設定します。

メモ

- コピー基本画面では、用紙の選択、コピー濃度の設定、画質の設定、倍率の設定、両面コピーの設定、仕上げの設定などができます。
- コピーモードの設定（コピー基本画面）については、「第 2 章　基本的なコピーの使いかた」を参照してください。

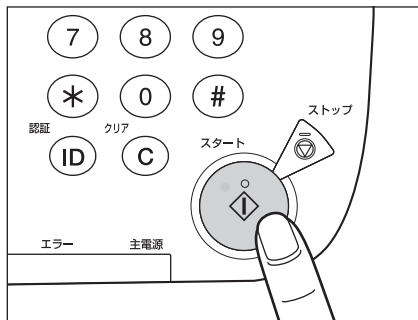
6 応用モード画面で必要に応じたコピーモードを設定します。

❑［応用モード］を押します。

❏ 設定したいモードのキーを押します。

メモ　コピーモードの設定（応用モード画面）については、「第3章　便利なコピーの使いかた」を参照してください。

7 ⓪〜⑨（テンキー）で必要なコピー枚数（1〜99）を入力します。

コピー枚数を修正するときは、ⓒ（クリア）を押して設定枚数を取り消し、必要な枚数を入力しなおします。

設定枚数がコピー基本画面の右端に表示されます。

重要　コピーの途中でコピー枚数を変更することはできません。

8 ◈（スタート）を押します。

下の画面が表示された場合は、画面の表示に従って、原稿 1 枚ごとに◈（スタート）を押します。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

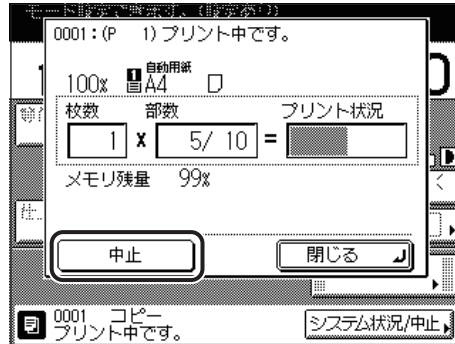
コピーが開始されます。

重要 コピーの途中では枚数、用紙サイズ、倍率などのコピーモードの変更はできません。

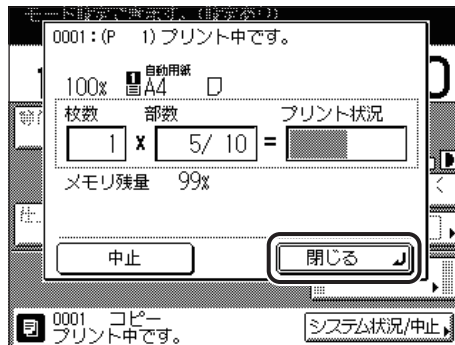
メモ 先行するジョブがある場合は、原稿の読み込みをしたあとプリント待機状態になり、順番がきたらプリントを開始します。

9 コピーを中止する場合、コピー中に次のコピーの原稿を読み込ませる場合は、次の操作を行います。

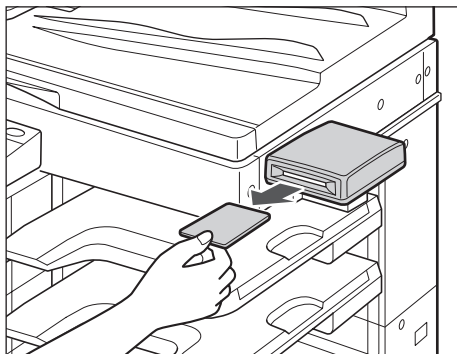
● コピーを止める場合

❑ 読み込み中、プリント中、またはプリント待機中に表示される画面の［中止］を押します。

メモ
- 読み込み中にコピージョブを中止した場合は、セットした原稿を取り除いてください。
- システム状況 / 中止画面でもコピーを中止することができます。（➞ コピーを中止する：P.1-22）

● コピー中に次のコピーの原稿を読み込ませる場合

❑ ［閉じる］を押して、原稿をセットしたあと、◈（スタート）を押します。

メモ　コピージョブの予約については、「予約コピーする」（➞ P.1-24）を参照してください。

10 原稿の読み込みが終了したら、原稿を取り除きます。

11 オプションのカードリーダ -E1 を装着しているときは、コントロールカードを抜き取ります。

メモ　オプションのカードリーダ -E1 の詳細については、ユーザーズガイド「第 3 章　オプション機器について」を参照してください。

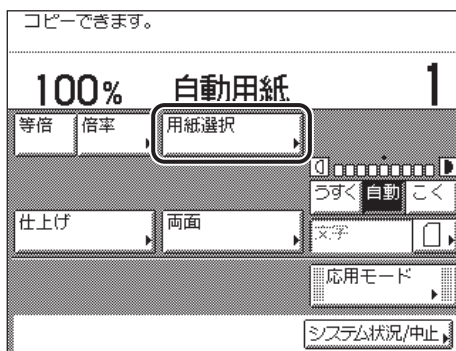
12 部門別 ID 管理やユーザ ID 管理が設定されている場合は、Ⓘ（認証）を押します。

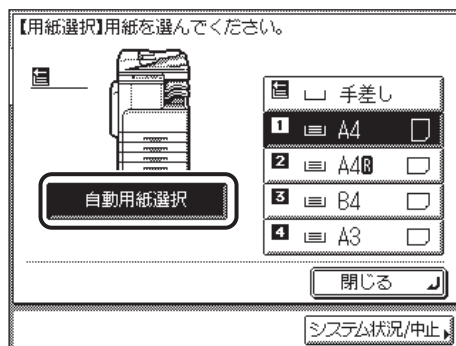
メモ　部門別 ID 管理の詳細については、ユーザーズガイド「第 6 章　システム管理設定」を参照してください。

コピーする用紙を選択する（用紙選択）

メモ

- 用紙いっぱいに画像がある原稿をコピーすると、コピー画像の周囲が欠けることがあります。欠ける幅の大きさは仕様の画像欠け幅を参照してください。（→ユーザーズガイド「第9章　付録」）
- 手差しトレイに用紙をセットする方法については、ユーザーズガイド「第2章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。
- 工場出荷時は、「自動用紙選択」が設定されています。

1 **原稿をセットして、［用紙選択］を押します。**

● **自動的に用紙を選択してコピーする場合（自動用紙選択）**

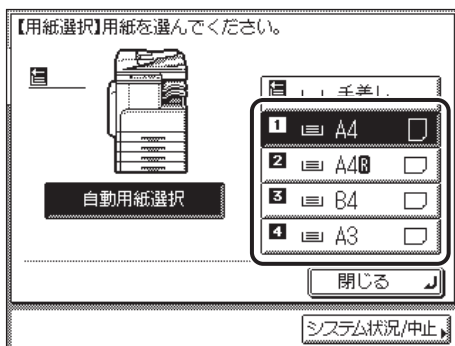
❑ ［自動用紙選択］を押します。

重要

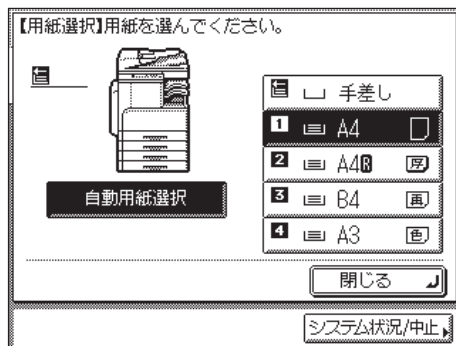
- 自動用紙選択は、自動変倍、縮小レイアウトと組み合わせた設定はできません。
- 次のような原稿は、自動用紙選択ではコピーできません。マニュアル用紙選択でコピーしてください。
  - ・定形サイズ以外の原稿
  - ・OHP フィルムなど透明度の高い原稿
  - ・地色が極端に濃い原稿
  - ・A6R、はがきサイズよりも小さい原稿

メモ

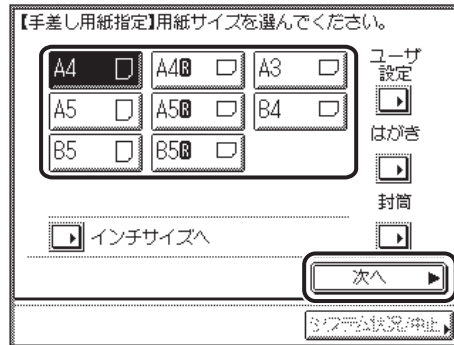
共通仕様設定（初期設定 / 登録）のカセットオート選択の ON/OFF で「OFF」に設定した給紙箇所の用紙には自動用紙選択ではコピーできません。（→ ユーザーズガイド「第 4 章　使いかたにあわせた仕様の設定」）

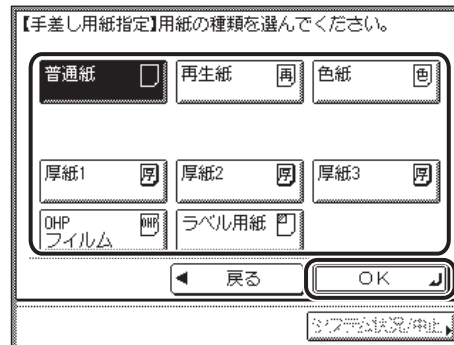
● 用紙を指定してコピーする場合 （マニュアル用紙選択）

❑ 用紙を選択します。

メモ

- 各カセットにセットされた用紙のサイズが、タッチパネルディスプレイに表示されます。
- セットされている用紙の種類（色紙、再生紙など）がアイコン表示されます。（→ ユーザーズガイド「第 4 章　使いかたにあわせた仕様の設定」）
- ▯ はタテ置き、▭ はヨコ置きに用紙がセットされていることを示しています。また「R」のついた用紙サイズ（A4R など）はカセットまたは手差しトレイにヨコ長にセットされた用紙を表します。

● 定形サイズの用紙を手差ししてコピーする場合

❑ 手差しトレイに用紙をセットします。

❑ 用紙サイズを選択したあと、[次へ]を押します。

メモ　インチサイズを選択する場合は、[インチサイズへ]を押します。

❑ 用紙の種類を選択したあと、[OK]を押します。

重要

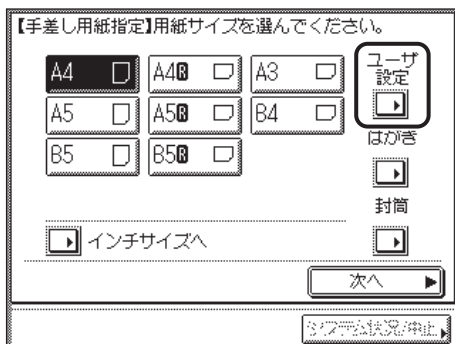
- 用紙の種類は必ず正しく設定してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく設定されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もありますので、必ず正しく設定してください。
- ＯＨＰ フィルムまたはラベル用紙を選択した場合は、ソート、グループ、回転ソート、回転グループ、シフトソート、シフトグループ、ステイプルソートを設定することはできません。

メモ

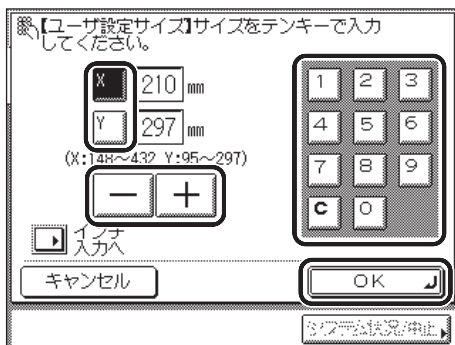
- A4タテ置きの用紙サイズを設定したときのみ、OHPフィルムを選択することができます。
- 用紙の種類の詳細については、ユーザーズガイド「第２章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

● **定形サイズ以外の用紙を選択する場合**

❑ 手差しトレイに用紙をセットします。

❑ ［ユーザ設定］を押します。

❑ ［X］（ヨコ方向）を押したあと、用紙サイズを ⓪～⑨（テンキー）、タッチパネルディスプレイのキーボード、または [−][＋] で入力します。

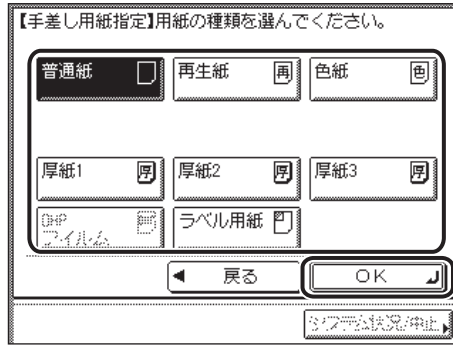
❑ ［Y］（タテ方向）を押したあと、用紙サイズを ⓪～⑨（テンキー）、タッチパネルディスプレイのキーボード、または [−][＋] で入力します。

❑ ［OK］を押します。

用紙サイズの選択画面に戻ります。

メモ

- インチ単位で入力する方法は、ユーザーズガイド「第２章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。
- 入力した用紙サイズを変更するときは、[c]を押していったん数値を消してから正しい数値を入れ直してください。
- ミリ単位の数値を入力するときは、操作パネルのテンキーとクリアキーを使って入力することもできます。
- 数値を入力した後で、[-][+] を使って数値を調整することができます。
- 設定できる範囲をこえた数値を入力すると、[OK] が表示されません。
- [X] は 148 ～ 432mm、[Y] は 95 ～ 297mm の範囲で設定してください。

❑ ［次へ］を押します。

❑ 用紙の種類を選択したあと、［OK］を押します。

重要

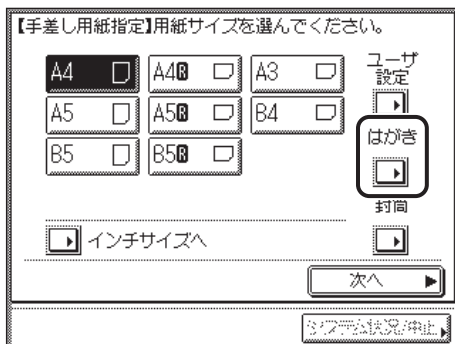
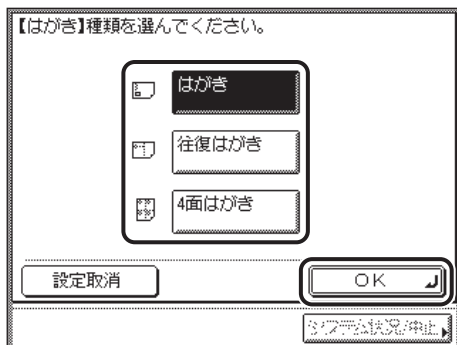
- 用紙の種類は必ず正しく設定してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく設定されていないと画像不良が起こる可能性があり、定着器が汚れたり紙の巻きつきが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もありますので、必ず正しく設定してください。
- ユーザ設定の用紙を選択した場合は、回転ソート、回転グループ、シフトソート、シフトグループ、回転グループ、シフトソート、シフトグループ、ステイプルソート、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写、ページ連写両面、縮小レイアウトの各機能と組み合わせた設定はできません。

メモ

用紙の種類の詳細については、ユーザーズガイド「第２章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

● **郵便はがきを選択する場合**

❑ 手差しトレイに用紙をセットします。

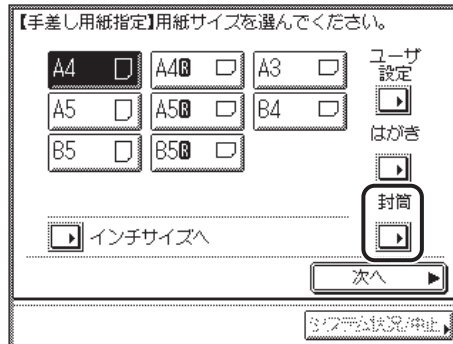
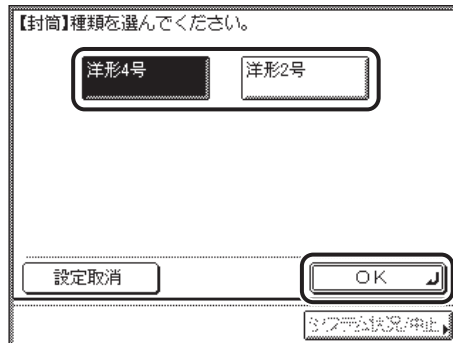
❑ ［はがき］を押します。

❑ 郵便はがきの種類を選択したあと、［OK］を押します。

用紙サイズの選択画面に戻ります。

重要
- 郵便はがきの種類は正しく選択してください。紙づまりの原因になることがあります。
- 郵便はがきを選択した場合は、ソート、グループ、回転ソート、回転グループ、シフトソート、シフトグループ、ステイプルソート、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写両面、ページ連写、縮小レイアウトの設定はできません。

❑ ［OK］を押します。

● **封筒を選択する場合**

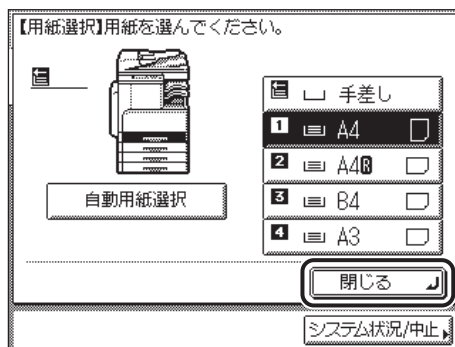
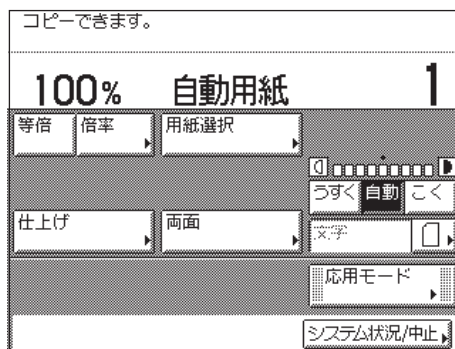
❑ 手差しトレイに用紙をセットします。

❑ ［封筒］を押します。

❑ 封筒の種類を選択したあと、［OK］を押します。

用紙サイズの選択画面に戻ります。

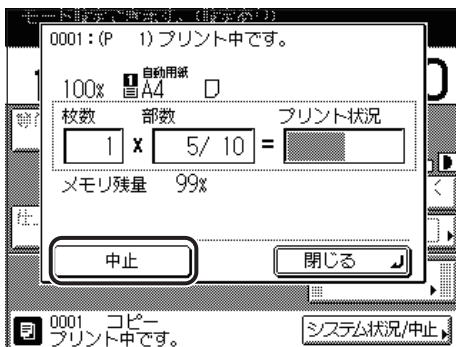
重要
- 封筒の種類は正しく選択してください。紙づまりの原因になることがあります。
- 封筒を選択した場合は、ソート、グループ、回転ソート、回転グループ、シフトソート、シフトグループ、ステイプルソート、片面▶両面、両面▶両面、ページ連写両面、縮小レイアウトの設定はできません。

メモ
- 洋形２号（114 × 162mm）、洋形４号（105 × 235 mm）の封筒がセットできます。
- セットの方法の詳細については、ユーザーズガイド「第２章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

❑ ［OK］を押します。

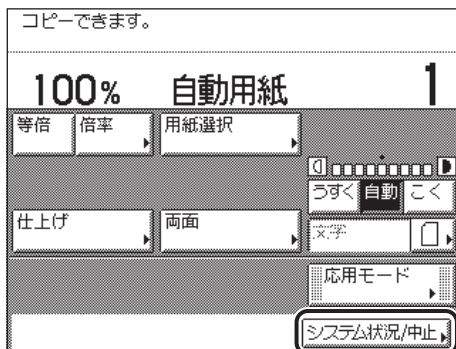
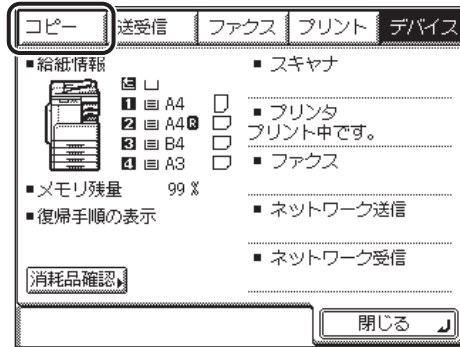
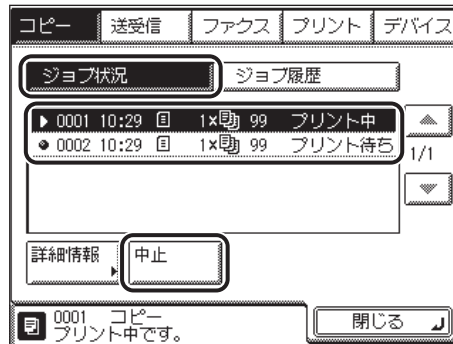
2 ［閉じる］を押します。

コピー基本画面に戻り、選択した用紙が表示されます。

コピーを中止する

タッチパネルディスプレイから中止する

1 **読み込み中、プリント中、またはプリント待機中に表示される画面の［中止］を押します。**

コピージョブが中止されます。

メモ
- 読み込み中のコピージョブは、(ストップ) を押しても中止することができます。
- 読み込み中にコピージョブを中止した場合は、セットした原稿を取り除いてください。

システム状況 / 中止画面から中止する

1 **［システム状況 / 中止］を押します。**

2 [コピー] を押します。

3 [ジョブ状況] を押し、中止するジョブを選択したあと、[中止] を押します。

複数のジョブを同時に選択して中止することはできません。1 つずつ選択して中止してください。

中止してよいかどうか、確認のメッセージが表示されます。

4 [はい] を押します。

中止しない場合は、[いいえ] を押します。

選択したジョブが中止されます。

メモ　中止したジョブは、ジョブ履歴の画面で「NG」と表示されます。

5 [閉じる] を押します。

コピー基本画面に戻ります。

予約コピーする

本製品がウェイト中やプリント中でも、次にコピーする原稿を、あらかじめ読み込ませておくことができます。

メモ
- 予約コピーは、コピー中のジョブを含めて5件まで予約できます。
- 各ジョブには、それぞれ違ったモードや給紙箇所を設定することができます。

予約コピーする

予約コピーは次のときに行うことができます。

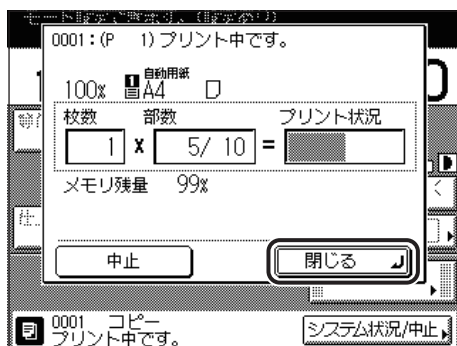
■ ウェイト中に予約コピーする

ウェイト時間中（紙づまり処理後など）に、コピーモード設定や原稿読み込みを行うことができます。ウェイト時間が終了すると、先に予約したコピーから順にプリントされます。予約コピーを設定できる状態のときは、「予約コピーできます。」というメッセージが表示されます。

メモ
以下の状態のときに予約コピーできます。
・紙づまり点検処理後
・本製品のカバーを開閉した後

■ プリント中に予約コピーする

プリント中に、次のコピーのコピーモード設定や原稿読み込みを行うことができます。プリント中のジョブが終了したら、先に予約したコピーから順にプリントされます。

1 プリント中に表示される下の画面の［閉じる］を押します。

表示されているプリントジョブ状況がコピー機能以外の場合は、［コピー］（コピー）を押してコピー基本画面を表示させます。

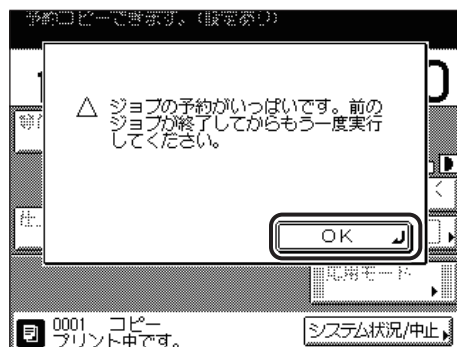
ウェイト時間中に予約コピーする場合は、この操作は必要ありません。

2 原稿をセットして、必要に応じたコピーモードと用紙を設定します。

メモ

- 前に設定されているコピーモードを解除するには、（リセット）を押します。
- コピーモードの設定については、「第２章　基本的なコピーの使いかた」、「第３章　便利なコピーの使いかた」を参照してください。
- 用紙の設定については、「コピーする用紙を選択する（用紙選択）」（→ P.1-14）を参照してください。

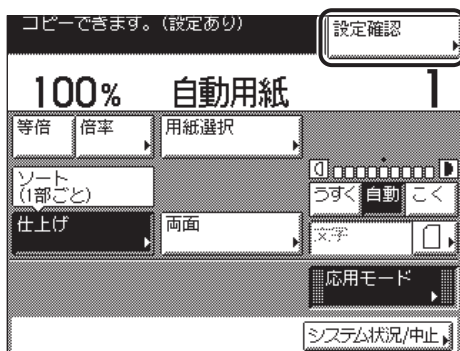
3 （スタート）を押します。

下の画面が表示された場合は、［OK］を押して前のジョブが終了したあとに操作をやりなおしてください。

読み込みが開始されます。

設定したコピーモードを確認／変更／解除する（設定確認／設定取消）

応用モードや両面、仕上げなどのコピーモードを設定した場合、設定内容を一覧で確認、変更、取り消しすることができます。

メモ　コピーモードの設定については、「第２章　基本的なコピーの使いかた」、「第３章　便利なコピーの使いかた」を参照してください。

1 コピー基本画面の［設定確認］を押します。

設定確認画面が表示され、設定したコピーモードが表示されます。

2 設定内容を確認します。

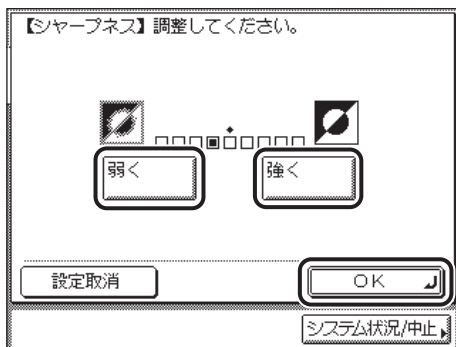
コピーモードが設定したいモードになっていれば手順 4 に進んでください。そうでない場合は、変更または取り消したいキーを押してください。

選択したコピーモードの設定画面が表示されます。

メモ　各モードキーの「▶」は、設定用の画面があることを示しています。

3 選択したコピーモードを変更／解除します。（例：シャープネスの場合）

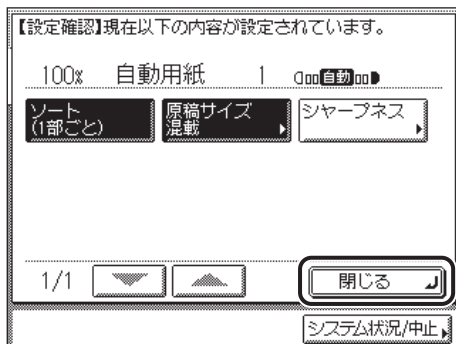
● 変更する場合

❑ 各モードを設定したときと同様の手順で変更します。設定内容を確認したあと、［OK］を押します。

設定確認画面に戻ります。

● 解除する場合

❑ ［設定取消］を押します。

設定確認画面に戻ります。

4 ［閉じる］を押します。

コピー基本画面に戻ります。

基本的なコピーの使いかた

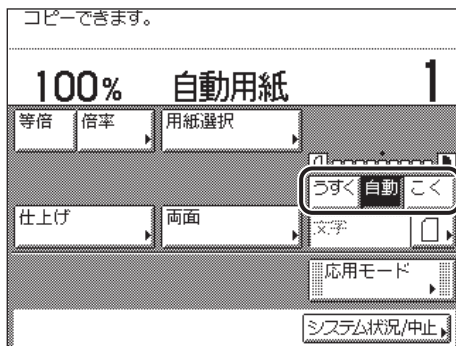
2
CHAPTER

コピーの基本的な設定（コピーモード）について説明しています。

濃度／画質を調節する

濃度を任意に調節する

原稿の濃度にあわせて、濃度を任意に調節します。

1 原稿をセットして、［うすく］または［こく］を押します。

コピー濃度は［うすく］［こく］の上のインジケータが左に移るほど薄く、右に移るほど濃くなります。

2 (スタート）を押します。

コピーが開始されます。

メモ　他のコピーモードと一括して設定を解除するには、(リセット）を押します。

画質を選択する

原稿の画質に応じて画質を調節することができます。画質調節には次の３種類があります。

文字モード

RES●RT PLAN

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together. Aptly nicknamed "Tropical Forests under the sea", these spots of breathtaking beauty serve as home to countless varieties of life, and to us of the land, this alluring, dream-like world forms a tropical paradise filled with romance.

文字／写真モード

RES●RT PLAN

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together.

写真モード

重要

- この３種類のモードは重複して設定できません。どれか１つのモードを設定すると、直前に設定されていたモードは解除されます。
- 写真モードで印刷写真（網点写真）をコピーすると、モアレと呼ばれるまだら模様が出る場合があります。この場合は、シャープネスを使ってモアレを低減させます。（➞ 画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）：P.3-20）

メモ

- 濃度を［自動］に設定すると、画質はグレーアウトして文字モードに固定されます。［文字／写真］、［写真］を選択した場合は、手動で濃度調節してください。
- 原稿が OHP フィルムの場合は、画質を設定したあと、原稿の画質にあわせて濃度を調節してください。

■ 文字モード

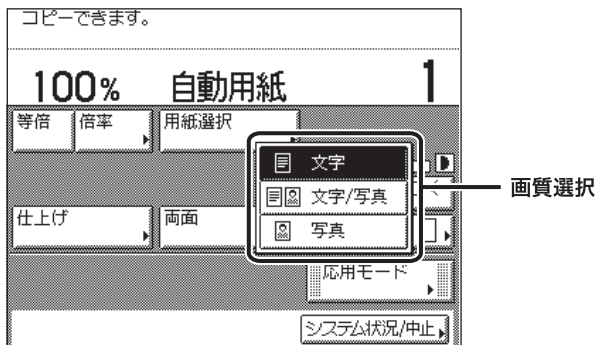
文字原稿に適しています。青焼きや、うすい鉛筆書きの原稿でもきれいにコピーできます。

■ 文字／写真モード

文字と写真が混在する原稿に適しています。

■ 写真モード

網点でつくられている写真原稿（印刷されている写真）に適しています。

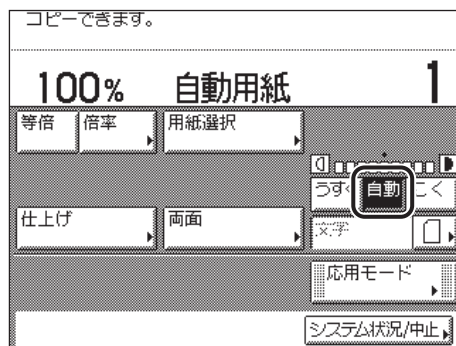
1 **原稿をセットして、画質選択ドロップダウンリストを押したあと、原稿の画質（文字、文字 / 写真、写真）を選択します。**

2 **（スタート）を押します。**

コピーが開始されます。

メモ　他のコピーモードと一括して設定を解除するには、（リセット）を押します。

濃度を自動で調節する

原稿の濃度に応じて自動的に適切な濃度に調節します。

1 原稿をセットして、［自動］を押します。

原稿の濃度に応じて自動的に適切な濃度に調節します。

メモ　原稿が OHP フィルムの場合は、自動濃度調節ができないことがあります。このときは、［うすく］または［こく］を押して濃度を調節してください。

2 ◎（スタート）を押します。

コピーが開始されます。

メモ　他のコピーモードと一括して設定を解除するには、◎（リセット）を押します。

倍率を変える（倍率）

倍率を指定してコピーしたり、倍率を自動的に設定してコピーできます。

メモ　100 % の倍率でコピーする場合は、［等倍］を押します。

決められた倍率で縮小／拡大する（定形変倍）

定型の倍率で縮小／拡大します。

重要
- 以下の場合は、原稿をヨコ置きにセットしてください。
  ・A4 サイズの原稿を A3、B4 サイズの用紙に拡大する
  ・B5 サイズの原稿を B4 サイズの用紙に拡大する
  ・A5 サイズの原稿を A3 サイズの用紙に拡大する
- コピー仕様設定（初期設定 / 登録）のオートタテヨコ回転の ON/OFF で「OFF」に設定されたときに、A3、B4 サイズの原稿を A4、B5 サイズの用紙に縮小コピーする場合は、カセットまたは手差しトレイに A4R、B5R の用紙をセットしてください。

メモ　「ヨコ置き」とは、原稿をヨコ長にセットした状態です。（➞ ユーザーズガイド「第 2 章 おもな機能と基本的な使いかた」）

■ 縮小

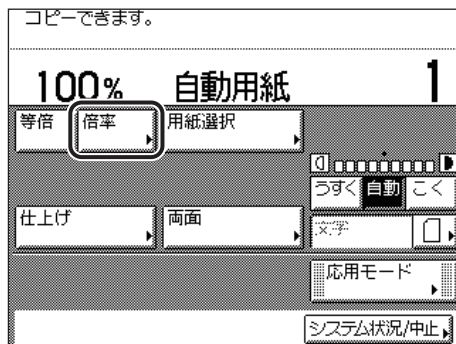
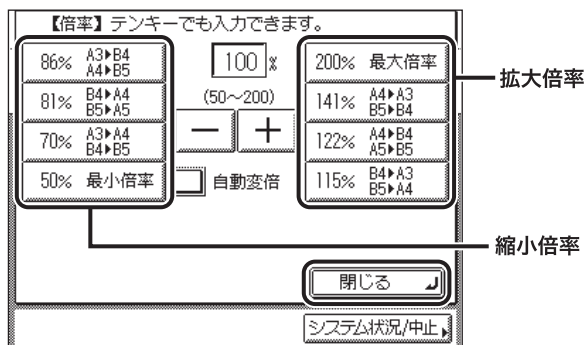
縮小するときに設定できる倍率は次のとおりです。

- A3 ➞ B4、A4 ➞ B5 （86 %）
- B4 ➞ A4、B5 ➞ A5 （81 %）
- A3 ➞ A4、B4 ➞ B5 （70 %）
- 最小倍率（50 %）

■ 拡大

拡大するときに設定できる倍率は次のとおりです。

- 最大倍率（200 %）
- A4 ➞ A3、B5 ➞ B4 （141 %）
- A4 ➞ B4、A5 ➞ B5 （122 %）
- B4 ➞ A3、B5 ➞ A4 （115 %）

1 原稿をセットして、［倍率］を押します。

2 縮小する場合は縮小倍率を、拡大する場合は拡大倍率を選択したあと、［閉じる］を押します。

コピー基本画面に戻り、倍率が表示されます。

3 用紙を選択します。

メモ

- 用紙選択で［自動用紙選択］を設定したときは、倍率に合わせ最適な用紙が選択されます。
- OHP フィルムのように透明度の高い原稿は、最適な用紙が選択されない場合があります。

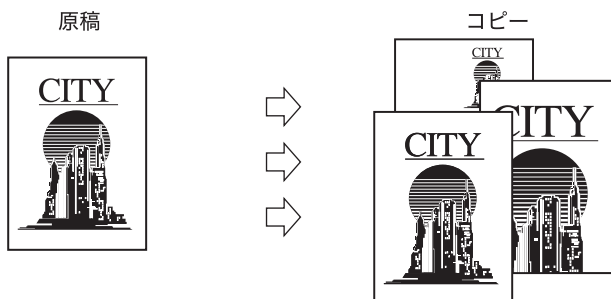
4 (スタート）を押します。

コピーが開始されます。

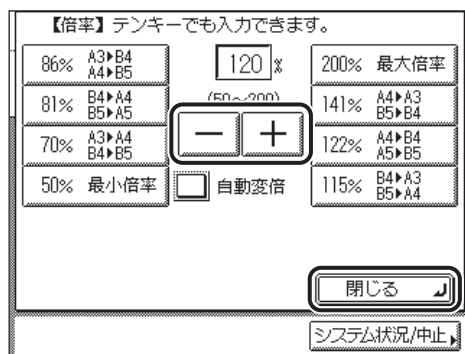
メモ

- 100 % に戻すには、［等倍］を押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、(リセット）を押します。

1% 単位で倍率を指定して縮小／拡大する（ズーム変倍）

1 % きざみに任意の倍率を設定して、縮小／拡大します。倍率はタテ／ヨコ同率で、50 〜 200 % の範囲で設定することができます。

1 原稿をセットして、[倍率] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「決められた倍率で縮小／拡大する（定形変倍）」（➞ P.2-6）の手順 1 を参照してください。

2 [－] [＋] を押して倍率を設定したあと、[閉じる] を押します。

⓪〜⑨（テンキー）で入力する場合は、設定できる範囲外の数値を指定すると適切な範囲での設定を促すメッセージが表示されます。

コピー基本画面に戻り、倍率が表示されます。

3 用紙を選択します。

- 用紙選択で [自動用紙選択] を設定したときは、倍率に合わせ最適な用紙が選択されます。
- OHP フィルムのように透明度の高い原稿は、最適な用紙が選択されない場合があります。

4 (スタート)を押します。

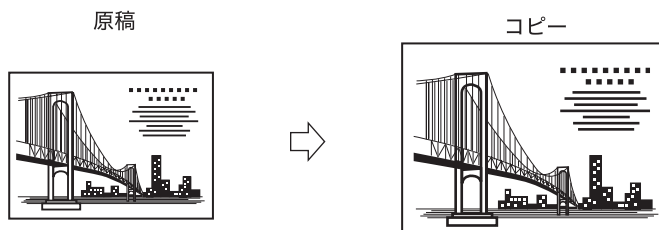
コピーが開始されます。

メモ
- 100 % に戻すには、[等倍]を押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、(リセット)を押します。

指定した用紙のサイズにあわせて自動変倍する（自動変倍）

指定した用紙サイズにあわせて、自動的に原稿のタテ／ヨコを同じ倍率に設定します。倍率は 50 ～ 200 % の範囲で設定されます。

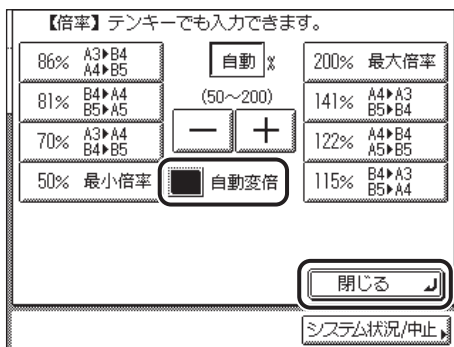
原稿

コピー

重要
- 自動変倍は、自動用紙選択と組み合わせた設定はできません。
- OHPフィルムのように透明度の高い原稿は自動変倍できません。定形変倍またはズーム変倍でコピーしてください。
- 自動変倍で使用できる原稿サイズは以下の定形サイズです。
  A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、A5R

---

1 原稿をセットして、[倍率]を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「決められた倍率で縮小／拡大する（定形変倍）」（→ P.2-6）の手順 1 を参照してください。

2 ［自動変倍］➞［閉じる］を押します。

コピー基本画面に戻り、倍率が表示されます。

3 用紙を選択します。

重要　［用紙選択］で、必ず用紙を選択してください。選択しないと、コピー時に最上段のカセットにセットされている用紙のサイズにあわせて、自動的に倍率が設定されます。

4 (スタート）を押します。

コピーが開始されます。

メモ
- 100 % に戻すには、［等倍］を押します。
- 設定を解除するには、［倍率］➞［自動変倍］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、（リセット）を押します。

コピーした用紙を仕分ける（仕上げ）

仕上げモードを設定すると、コピーした用紙をページで分けたり、部数で分けたりして排紙することができます。

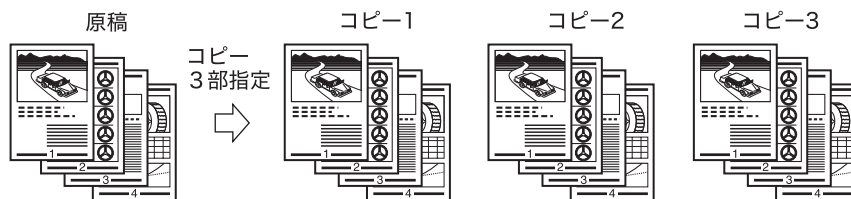
重要　封筒、郵便はがき、OHP フィルム、ラベル用紙を選択した場合は、仕上げモードを設定することはできません。

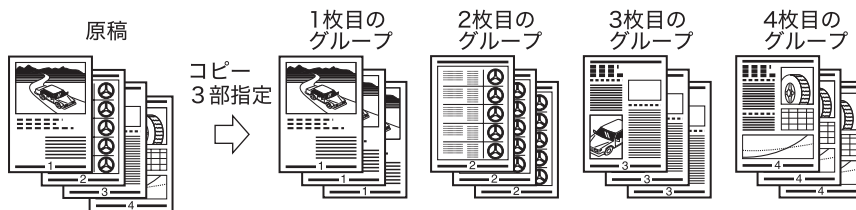
メモ　オプションのフィニッシャー U2 の詳細については、ユーザーズガイド「第 3 章　オプション機器について」を参照してください。

■ 各オプション装着時に設定できる仕上げモードと指定できる用紙サイズは、以下のとおりです。

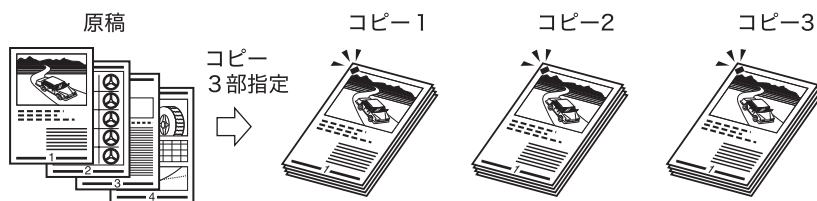
装着オプション	シフト	回転	ステイプルソート
なし	×	○ A4、A4R、B5、B5R	×
インナー 2 ウェイトレイ・E2 装着時	×	○ A4、A4R、B5、B5R	×
フィニッシャー U2	○ A3、B4、A4、A4R、B5	×	○ A3、B4、A4R（30 枚） ○ A4、B5（50 枚）

■「ソート」を設定した場合

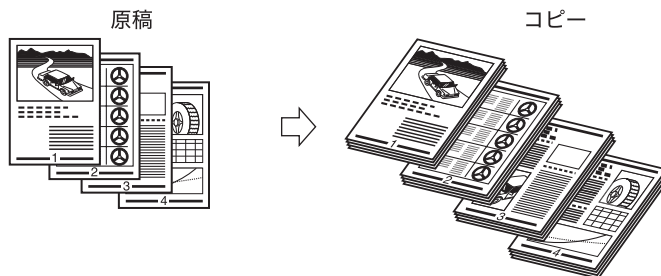
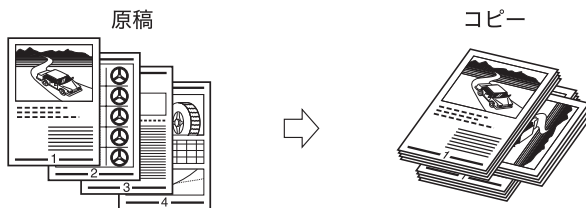
ページぞろえを行い、排紙します。コピーは次のように排紙されます。

■「グループ」を設定した場合

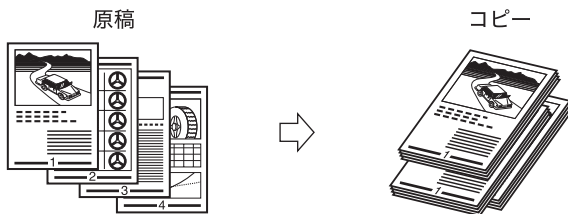
原稿の各ページごとに仕分けして排紙します。コピーは次のように排紙されます。

■「ステイプルソート」を設定した場合

ページぞろえを行い、ステイプルします。コピーは次のように排紙されます。

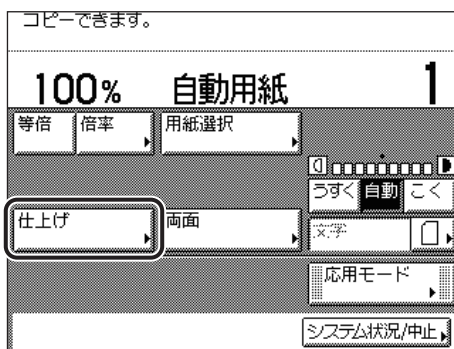
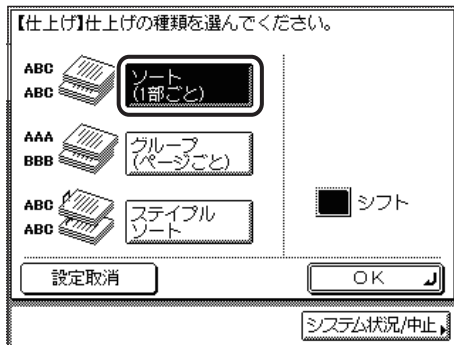
重要

- ステイプルソートを設定するには、本製品にオプションのフィニッシャー U2 を装着する必要があります。
- ステイプルの位置を選択することはできません。ステイプルされる位置については、ユーザーズガイド「第３章　オプション機器について」を参照してください

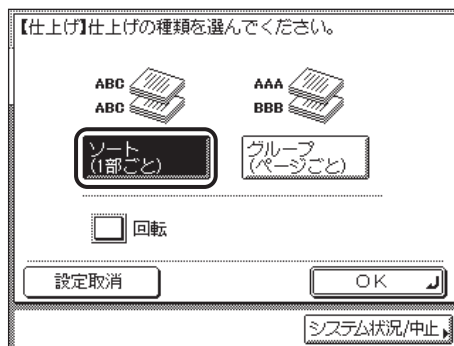
■「ノンソート」の場合

ソート、グループのいずれも設定されていない場合、コピーは次のように排紙されます。

■「回転」を設定した場合
同じサイズの用紙をセットした場合、ページぞろえを行い、一部ずつ交互に方向を変えて排紙します。

重要　本製品にオプションのフィニッシャーU2が装着されていないときに、回転を設定できます。

■「シフト」を設定した場合
ソートまたはグループと併せて使用します。部単位（ソート）またはページ単位（グループ）を束として、交互にずらして排紙します。

重要　シフトを設定するには、本製品にオプションのフィニッシャーU2を装着する必要があります。

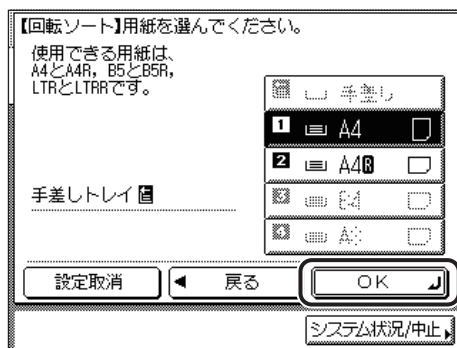
ページをそろえてコピーする（ソート）

1 原稿をセットして、［仕上げ］を押します。

2 ［ソート（1 部ごと)］を押します。

フィニッシャー U2 装着時

1 部ごとに束をずらして排紙する場合は、［シフト］を押します。

フィニッシャー U2 非装着時

● ［回転］を選択した場合

❑ ［次へ］を押したあと、A4、A4R、B5、B5R の用紙を選択します。

重要

- [シフト] を設定するには、本製品にオプションのフィニッシャーU2 を装着する必要があります。
- ［回転］を設定できるのは以下の場合です。
  - ・本製品にオプションのフィニッシャー U2 が装着されていないとき
  - ・マニュアル用紙選択で回転可能な用紙が選択されている
  - ・回転可能な用紙がタテ、ヨコともにセットされている
  - ・対象となる給紙箇所が共通仕様設定（初期設定／登録）のカセットオート選択のON/OFF で「ON」に設定されている（➞ ユーザーズガイド「第 4 章　使いかたにあわせた仕様の設定」）
- 回転で［自動用紙選択］を選択する場合は、必ず回転可能な用紙をセットしてください。セットしていないときは、回転ソートされないことがあります。
- 回転ソートできない用紙サイズや回転対象となる用紙サイズがない場合は、回転されずにソートします。

3 ［OK］を押します。

指定したモードが設定され、コピー基本画面に戻ります。

4 (スタート）を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、画面の表示に従って、原稿 1 枚ごとに
(スタート）を押してください。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

コピーが開始されます。

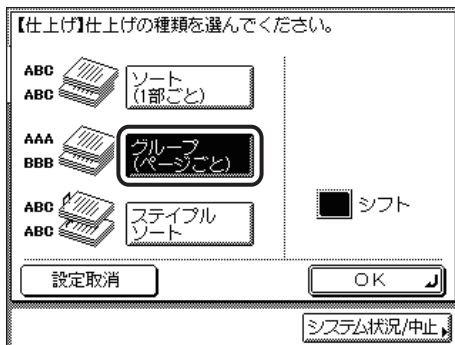
メモ

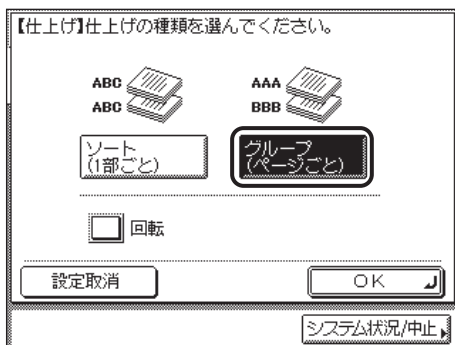
- 設定を解除するには、［仕上げ］➞［設定取消］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、(リセット）を押します。

ページごとに仕分けてコピーする（グループ）

1 原稿をセットして、［仕上げ］を押します。

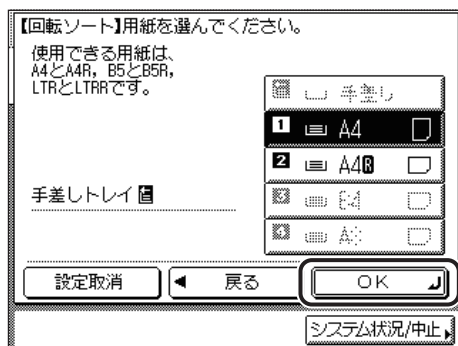
この手順の画面を確認する場合は、「ページをそろえてコピーする（ソート）」
(➞ P.2-13）の手順 1 を参照してください。

2 ［グループ（ページごと）］を押します。

フィニッシャー U2 装着時

ページごとに束をずらして排紙する場合は、［シフト］を押します。

フィニッシャー U2 未装着時

● ［回転］を選択した場合

❑ ［次へ］を押したあと、A4、A4R、B5、B5R の用紙を選択します。

重要

- [シフト] を設定するには、本製品にオプションのフィニッシャーU2 を装着する必要があります。
- シフトできる用紙は、次のとおりです。
  用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5
- ［回転］を設定できるのは以下の場合です。
  ・本製品にオプションのフィニッシャー U2 が装着されていないとき
  ・マニュアル用紙選択で回転可能な用紙が選択されている
  ・回転可能な用紙がタテ、ヨコともにセットされている
  ・対象となる給紙箇所が共通仕様設定（初期設定／登録）のカセットオート選択のON/OFF で「ON」に設定されている（➞ ユーザーズガイド「第 4 章　使いかたにあわせた仕様の設定」）
- 回転で［自動用紙選択］を選択する場合は、必ず回転可能な用紙をセットしてください。セットしていないときは、回転ソートされないことがあります。
- 回転ソートできない用紙サイズや回転対象となる用紙サイズがない場合は、回転されずにソートします。

3 ［OK］を押します。

指定したモードが設定され、コピー基本画面に戻ります。

4 ◈（スタート）を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、画面の表示に従って、原稿 1 枚ごとに◈（スタート）を押してください。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

コピーが開始されます。

メモ

- 設定を解除するには、［仕上げ］➞［設定取消］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、⊘（リセット）を押します。

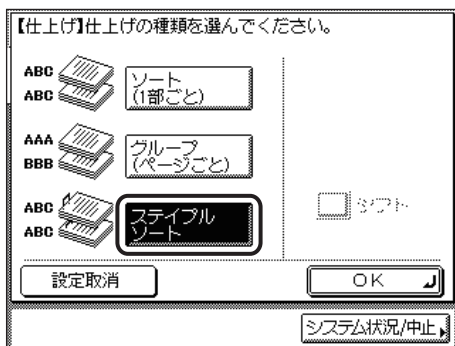
ページ順に仕分けてステイプルする（ステイプルソート）

重要　［ステイプルソート］を設定するには、本製品にオプションのフィニッシャー U2を装着する必要があります。

メモ　ステイプルできる用紙は、次のとおりです。
用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5

1 原稿をセットして、[仕上げ] を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「ページをそろえてコピーする（ソート）」
(→ P.2-13）の手順 1 を参照してください。

2 ［ステイプルソート］を押します。

フィニッシャー U2 装着時

3 ［OK］を押します。

指定したモードが設定され、コピー基本画面に戻ります。

4 (スタート）を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、画面の表示に従って、原稿 1 枚ごとに（スタート）を押してください。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

コピーが開始されます。

メモ
- 設定を解除するには、［仕上げ］→［設定取消］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、（リセット）を押します。

両面にコピーする（両面）

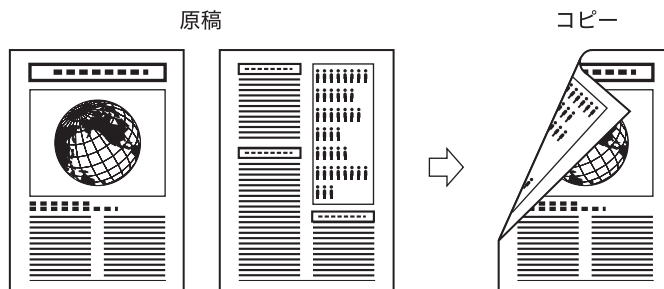
コピー機能の場合、片面の原稿を用紙の両面にコピーしたり、両面の原稿を用紙の片面にコピーできます。

重要　紙質によってはコピーできない場合があります。

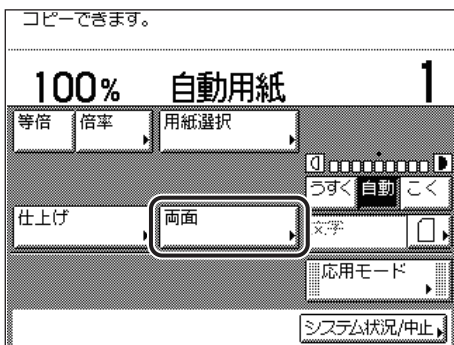
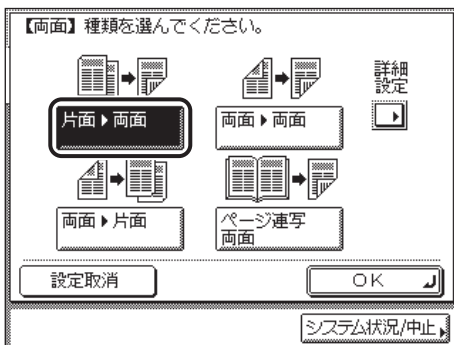
メモ
- オプションの両面ユニット・B1 の詳細については、ユーザーズガイド「第 3 章　オプション機器について」を参照してください。
- 両面を設定してコピーする場合は、原稿の天部（上側）が原稿台ガラス、またはフィーダの奥側になるようにセットしてください。
- 設定した内容は、コピー基本画面の［両面］の上に表示されます。
- 両面モードで使用できる用紙は、次のとおりです。
  - ・用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R（封筒、郵便はがきは両面コピーできません。）
  - ・用紙の厚さ：64 ～ 90 g/m^2

片面原稿を用紙の両面にコピーする（片面→両面）

2 枚の片面原稿を、1 枚の用紙の表裏に両面コピーします。

コピー

重要
- 片面▶両面を設定するには、本製品にオプションの両面ユニット・B1 を装着する必要があります。
- 片面▶両面は、ページ連写、縮小レイアウトと組み合わせた設定はできません。

メモ
- 原稿が奇数枚の場合は、両面コピーの最終プリントの裏面は白紙になります。
- 原稿サイズ混載と組み合わせたときに、表と裏になる原稿が異なるサイズの場合は、それぞれのサイズにあった用紙に片面コピーされます。サイズの異なる原稿を用紙の両面にコピーする場合は、あらかじめプリントする用紙を選択してください。

1 原稿をセットして、［両面］を押します。

2 ［片面▶両面］を押します。

コピーの表裏の画像の配置方法を設定する場合は、［詳細設定］を押して、両面コピーの種類を選択したあと、［閉じる］を押します。

選択する項目

［左右開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）を同じにします。

［上下開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）を逆にします。

種類の選択画面に戻ります。

3 ［OK］を押します。

コピー基本画面に戻り、［両面］の上に「片面▶両面」と表示されます。

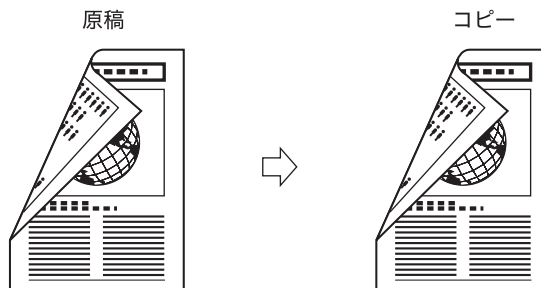
4 ◎（スタート）を押します。

原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、画面の表示に従って、原稿１枚ごとに◎（スタート）を押してください。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

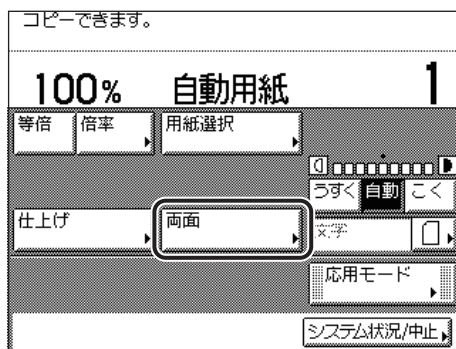
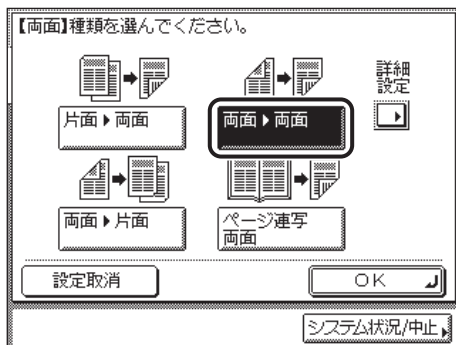
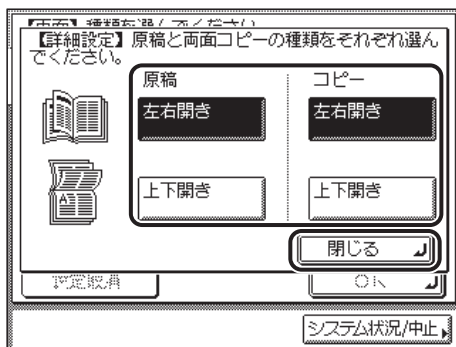
コピーが開始されます。

メモ
- 設定を解除するには、［両面］➞［設定取消］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、◎（リセット）を押します。

両面原稿から用紙の両面にコピーする　（両面→両面）

フィーダにセットした両面原稿の表裏を、１枚の用紙の表裏に両面コピーします。

重要
- 両面▶両面を設定するには、本製品にオプションの両面ユニット・B1 を装着する必要があります。
- 両面▶両面は、ページ連写、縮小レイアウトと組み合わせた設定はできません。

---

1 フィーダに原稿をセットして、［両面］を押します。

2 ［両面▶両面］を押します。

原稿とコピーの表裏の画像の配置方法を設定する場合は、［詳細設定］を押して、原稿とコピーの種類を選択したあと、［閉じる］を押します。

選択する項目

原稿

［左右開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）が同じ場合に選択します。

［上下開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）が逆の場合に選択します。

コピー

［左右開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）を同じにします。

［上下開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）を逆にします。

種類の選択画面に戻ります。

3 ［OK］を押します。

コピー基本画面に戻り、［両面］の上に「両面▶両面」と表示されます。

4 ⊙（スタート）を押します。

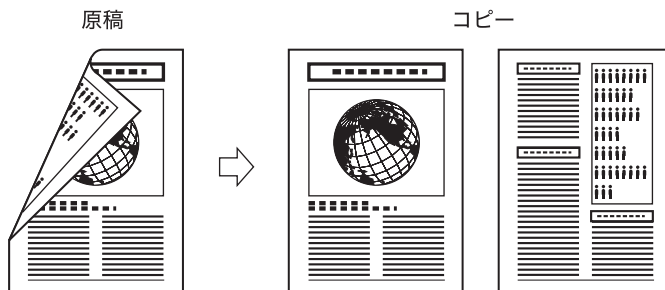
原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、画面の表示に従って、原稿１枚ごとに⊙（スタート）を押してください。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

コピーが開始されます。

メモ
- 設定を解除するには、［両面］→［設定取消］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、⊘（リセット）を押します。

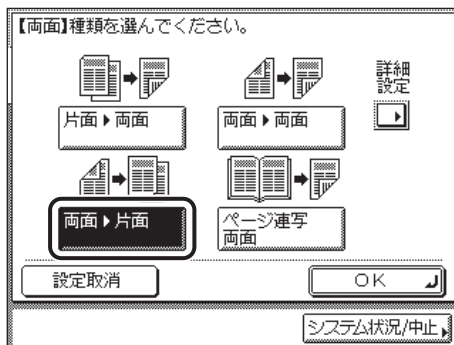
両面原稿から用紙の片面にコピーする（両面→片面）

フィーダにセットした両面原稿の表裏を別べつの用紙に片面コピーします。

原稿　　　コピー

重要
- 両面 ▶片面は、ページ連写、縮小レイアウトと組み合わせた設定はできません。
- A4R、B5R などのヨコ向きの原稿は、必ずヨコ置きにセットしてコピーしてください。タテ置きにセットしてコピーすると、原稿の表面と裏面のコピーの天地が逆になります。

1 フィーダに原稿をセットして、［両面］を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「両面原稿から用紙の両面にコピーする（両面→両面）」（→ P.2-21）の手順１を参照してください。

2 ［両面▶片面］を押します。

原稿の表裏の画像の配置方法を設定する場合は、［詳細設定］を押して、両面原稿の種類を選択したあと、［閉じる］を押します。

選択する項目

［左右開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）が同じ場合に選択します。

［上下開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）が逆の場合に選択します。

種類の選択画面に戻ります。

3 ［OK］を押します。

コピー基本画面に戻り、［両面］の上に［両面▶片面］と表示されます。

4 ◎（スタート）を押します。

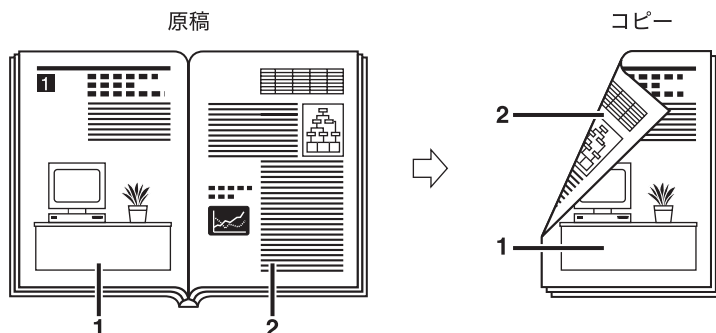
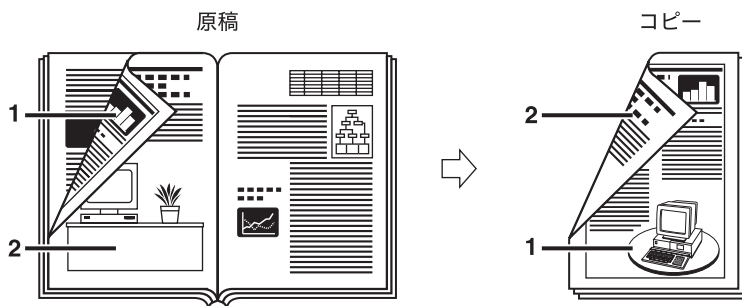
コピーが開始されます。

メモ

- 設定を解除するには、［両面］➞［設定取消］の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、◎（リセット）を押します。

ブック原稿から用紙の両面にコピーする（ページ連写両面）

ブック原稿の左右または、表裏ページを 1 枚の用紙の表裏にコピーします。

- 左右ページ両面
  左右ページの原稿を用紙の表裏にコピーします。

- 表裏ページ両面
  表裏ページの原稿を用紙の表裏にコピーします。

重要

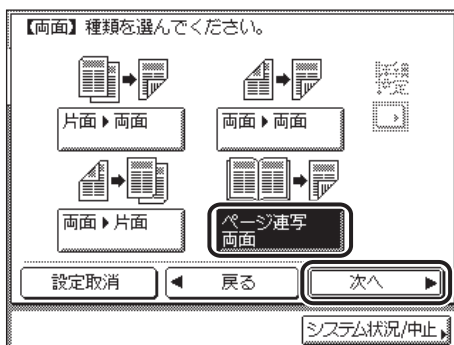
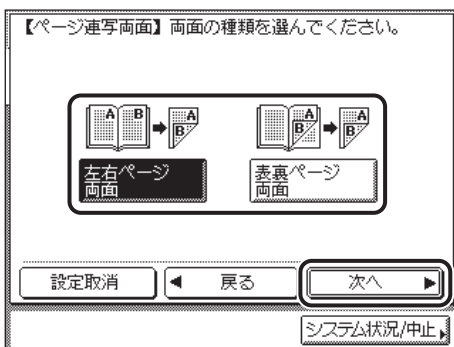
- ページ連写両面を設定するには、本製品にオプションの両面ユニット・B1 を装着する必要があります。
- ページ連写両面は、ページ連写、縮小レイアウト、パンチ穴消し、原稿サイズ混載と組み合わせた設定はできません。
- ページ連写両面コピーで使用する用紙サイズは、A4 または B5 を選択してください。
- 表裏ページ両面を選択してコピーした場合は、両面コピーの 1 枚目の表面と最終プリントの裏面は白紙になります。
- 原稿は原稿台ガラスにセットしてください。フィーダに原稿をセットしてページ連写両面で読み込むことはできません。

1 原稿台ガラスに原稿をセットして、［両面］を押します。

この手順の画面を確認する場合は、「片面原稿を用紙の両面にコピーする（片面→両面）」（➞ P.2-19）の手順 1 を参照してください。

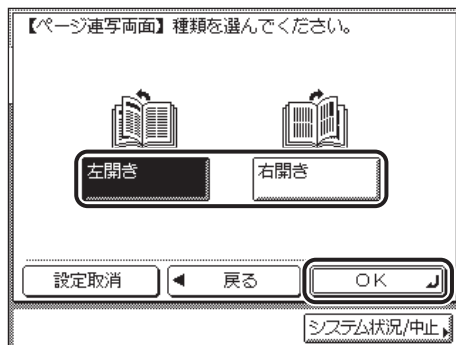
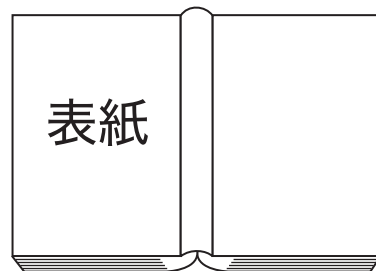
コピーをページ順にそろえるときは、原稿の先頭ページの見開きからコピーしてください。

ブック原稿は原稿の天部（上側）が原稿台ガラスの奥側になるようにし、左奥の矢印に角をあわせてセットします。

2 ［ページ連写両面］➞［次へ］を押します。

3 ページ連写両面の種類を選択したあと、［次へ］を押します。

選択する項目

［左右ページ両面］： ブック原稿の左右ページを 1 枚の用紙の表裏にコピーします。

［表裏ページ両面］： ブック原稿の左ページの表裏または右ページの表裏を 1 枚の用紙の表裏にコピーします。

4 ブック原稿の種類を選択したあと、[OK]を押します。

ブック原稿の開きかたを指定します。原稿台ガラスにふせて置いた状態にあわせて、次のように指定してください。

コピー基本画面に戻り、[両面]の上に「ページ連写両面」と表示されます。

5 ◎(スタート)を押します。

次の見開きをコピーする場合は、原稿をセットして再度◎(スタート)を押します。

読み込みが開始されます。

6 原稿の読み込みが終了したら、[読込終了]を押します。

コピーが開始されます。

メモ
- 設定を解除するには、[両面]→[設定取消]の順に押します。
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、◎(リセット)を押します。

3
CHAPTER

便利なコピーの使いかた

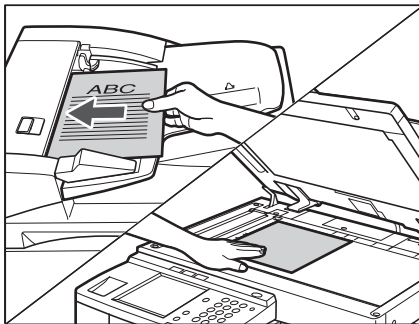
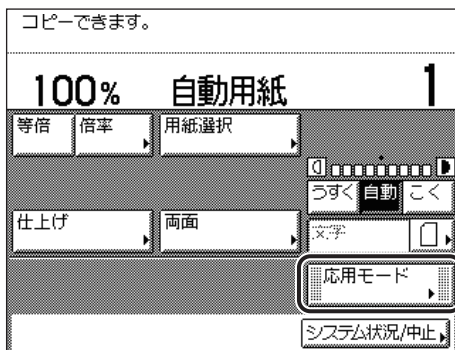
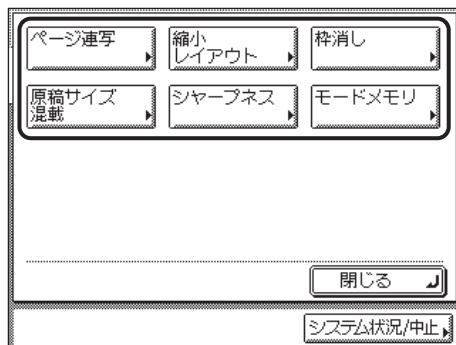
コピーの応用機能（応用モード）について説明しています。

応用モードとは

応用モードとは、ご利用の目的にあった多彩な編集を行うことができる機能です。

重要　機能によっては組み合わせて利用できない場合があります。詳しくは、各モードのページを参照してください。

コピーするときの応用モードを設定する

1 原稿をセットします。

2 ［応用モード］を押します。

3 応用モードを選択します。

重要　モードによって、原稿をフィーダにセットする場合や原稿台ガラスにセットする場合があります。詳しくは、各モードの設定手順を参照してください。

4 目的の機能を設定します。

各機能の詳しい設定方法は、各モードの設定手順を参照してください。

同時に他の機能を設定する場合は、手順３～４を繰り返してください。

5 (スタート) を押します。

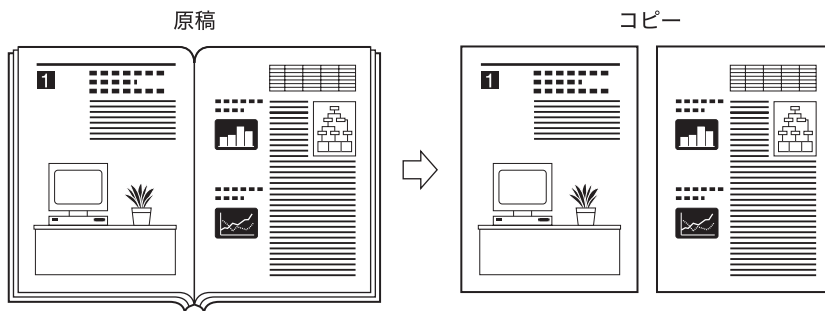
［ページ連写］、［縮小レイアウト］または［原稿サイズ混載］を選択し、原稿台ガラスに原稿をセットした場合は、画面の表示に従って、原稿１枚ごとに (スタート) を押してください。原稿の読み込みが終了したら、［読込終了］を押します。

コピーが開始されます。

メモ

- 設定を解除するには、以下の順に押します。
  - ・例：枠消し
    ［応用モード］→［枠消し］→［設定取消］
- 他のコピーモードと一括して設定を解除するには、(リセット) を押します。

ブック原稿を左右（2 枚）に分けてコピーする（ページ連写）

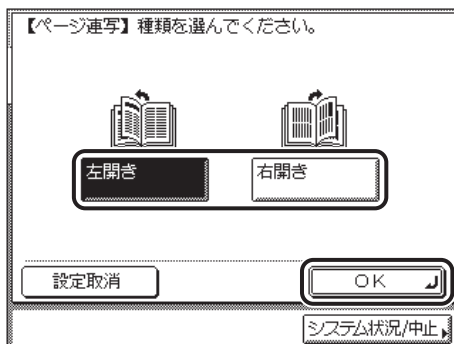
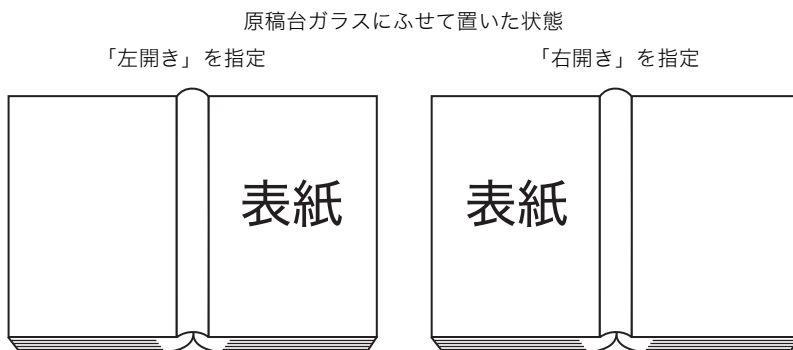
ブック原稿の左右ページを、別べつの用紙に 1 ページずつ連続コピーします。

重要　ページ連写は、両面、縮小レイアウト、原稿サイズ混載、パンチ穴消しと組み合わせた設定はできません。

メモ　ブック原稿を両面コピーする場合は、ページ連写両面を設定してコピーします。（→ ブック原稿から用紙の両面にコピーする（ページ連写両面）：P.2-25）

1 応用モードの［ページ連写］を押します。

原稿をセットするときにコピーをページ順にそろえるときは、原稿の先頭ページの見開きからコピーしてください。ブック原稿は、原稿の天部（上側）が原稿台ガラスの奥側になるようにし、左奥の矢印に角をあわせてセットします。

重要　原稿は原稿台ガラスにセットしてください。フィーダに原稿をセットしてページ連写で読み込むことはできません。

2 ブック原稿の開きかたを選択したあと、[OK] → [閉じる] の順に押します。

ブック原稿の開きかたを指定します。原稿台ガラスにふせて置いた状態にあわせて、次のように指定してください。

指定したモードが設定され、コピー基本画面に戻ります。

3 (スタート)を押します。

コピーが開始されます。

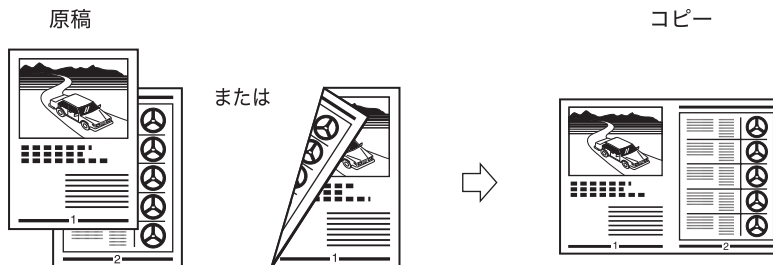
数枚の原稿や両面原稿などを１枚分の用紙サイズに縮小する（縮小レイアウト）

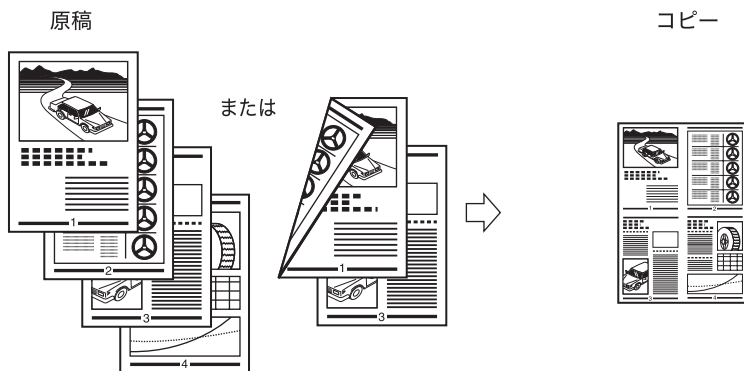
２枚または４枚の原稿や両面原稿、ブック原稿などを自動的に縮小して指定サイズにコピーします。

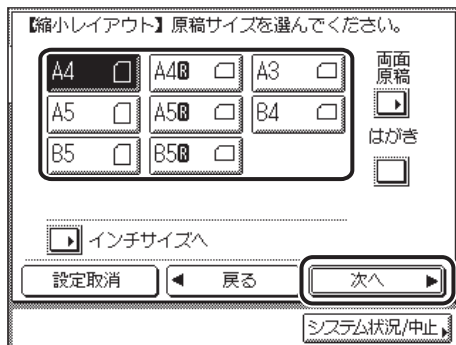
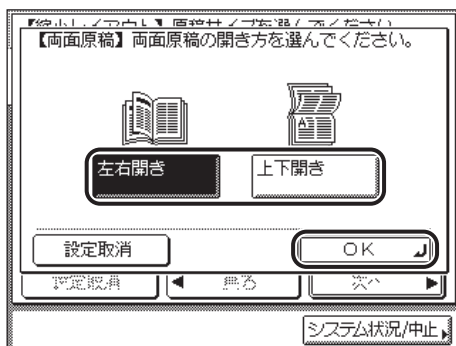
重要
- 縮小レイアウトは、自動用紙選択、両面、ページ連写、原稿サイズ混載、原稿枠消し、ブック枠消しと組み合わせた設定はできません。
- 原稿は必ず同じサイズを使用してください。原稿サイズ混載との組み合わせはできません。

メモ
縮小倍率は指定サイズの用紙にあわせて自動的に設定されます。

■ 2 in 1

２枚の原稿や１枚の両面原稿を片面１枚分の用紙サイズに縮小します。

■ 4 in 1

４枚の原稿や２枚の両面原稿を片面１枚分の用紙サイズに縮小します。

1 応用モードの［縮小レイアウト］を押します。

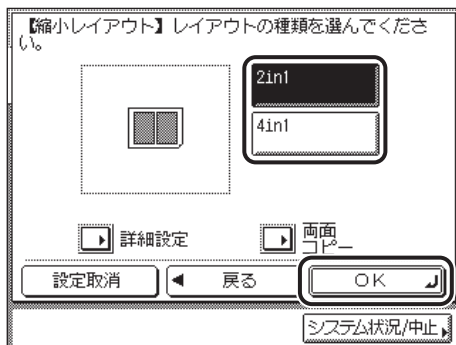
2 原稿サイズを選択したあと、［次へ］を押します。

両面原稿の場合は、［両面原稿］を押して、両面原稿の開きかたを選択したあと、［OK］→［次へ］の順に押します。

選択する項目

［左右開き］: 表面と裏面の画像の天地（上下）が同じ場合に選択します。

［上下開き］: 表面と裏面の画像の天地（上下）が逆の場合に選択します。

メモ

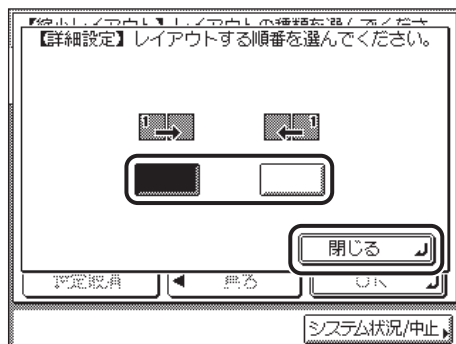
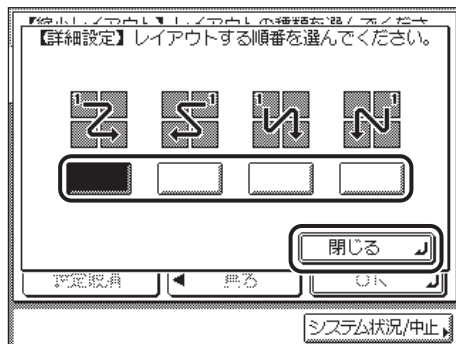
- はがきを選択する場合は、［はがき］を押します。
- インチサイズを選択する場合は、［インチサイズへ］を押します。
- はがきを選択した場合は、両面原稿の設定はできません。

3 縮小レイアウトの種類を選択したあと、［次へ］を押します。

用紙の両面にコピーする場合は、［両面コピー］を押して、仕上がりの開きかたを選択したあと、［OK］➞［次へ］の順に押します。

選択する項目

［左右開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）を同じにします。

［上下開き］：表面と裏面の画像の天地（上下）を逆にします。

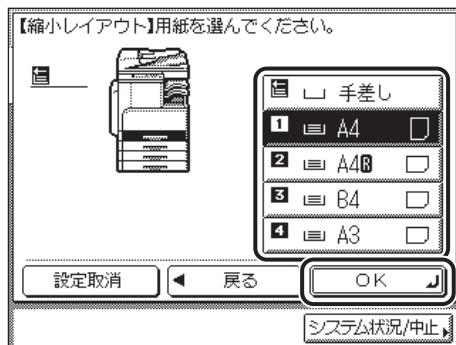
レイアウトする順番を設定する場合は、［詳細設定］を押して、レイアウトする順番を選択したあと、［閉じる］➞［次へ］の順に押します。

2 in 1 の場合

4 in 1 の場合

［詳細設定］を押して設定を変更しない場合は、レイアウトする順番は以下のようになります。

・2 in 1：　左 →右
・4 in 1：　左上 →右上 →左下 →右下

重要　［両面コピー］を設定するには、本製品にオプションの両面ユニット・B1 を装着する必要があります。装着していない場合、［両面コピー］は表示されません。

4 用紙を選択したあと、[OK] を押します。

指定したモードが設定されます。

重要　縮小レイアウトでは自動用紙選択はできません。

メモ　指定された用紙のサイズにあわせて自動的に縮小コピーされます。

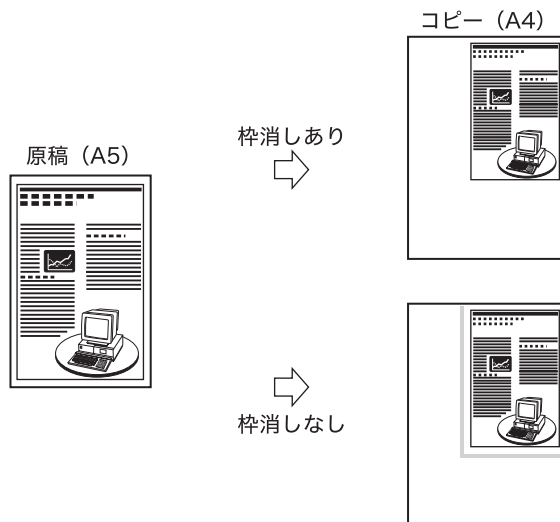
原稿の影や枠線を消す（枠消し）

原稿をコピーしたときにできる周囲の影や枠線などを消します。

枠消しには、原稿枠消し、ブック枠消し、パンチ穴消しの 3 種類があります。

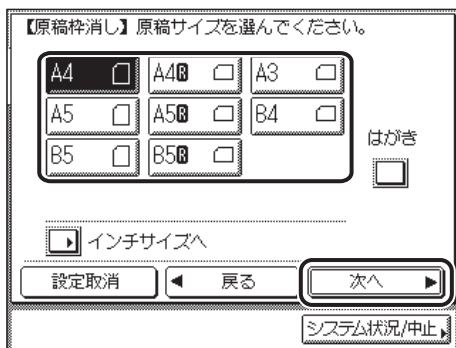
重要　この 3 種類のモードは重複して設定できません。どれか 1 つのモードを設定すると、直前に設定されていたモードは解除されます。

原稿の枠線を消す（原稿枠消し）

原稿がコピーする用紙サイズより小さいとき、コピーする用紙の周囲にできる影や枠線を消します。また、コピーする用紙サイズの周囲に一定幅の余白（白地）を作ることもできます。

重要　原稿枠消しは、縮小レイアウト、原稿サイズ混載と組み合わせた設定はできません。

1 応用モードの［枠消し］を押します。

2 ［原稿枠消し］を押したあと、［次へ］を押します。

3 原稿のサイズを選択したあと、［次へ］を押します。

重要　原稿枠消しコピーできる原稿は、表示されている原稿サイズのみです。

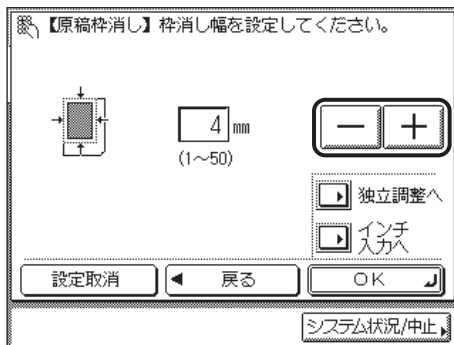
メモ
- はがきを選択する場合は、［はがき］を押します。
- インチサイズを選択する場合は、［インチサイズへ］を押します。

4 ［－］［＋］を押して枠消しする幅を設定します。

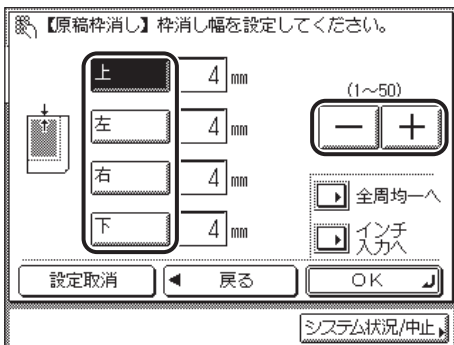
⓪～⑨（テンキー）で入力する場合は、設定できる範囲外の数値を指定すると、適切な範囲での設定を促すメッセージが表示されます。

メモ
- 初期設定では、原稿枠消し幅は4 mmに設定されています。最大で50 mmまで設定できます。
- インチ単位で入力する方法は、ユーザーズガイド「第２章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

● **原稿の周囲を均一に枠消しする場合**

❑ ［−］［＋］を押して枠消しする幅を設定します。

● **原稿の上、下、左、右側を別べつに指定して枠消しする場合**

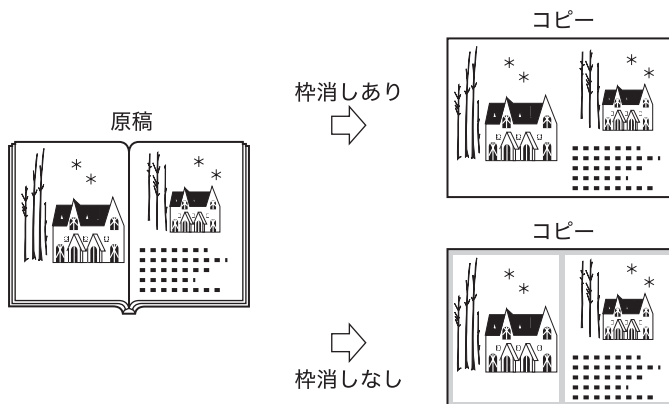
❑ ［独立調整へ］を押します。

❑ 枠消しする向きを選択して、［−］［＋］を押して枠消しする幅を設定します。

原稿の周囲を均一に指定する画面に戻すには、［全周均一へ］を押します。

5 ［OK］を押します。

指定したモードが設定されます。

ブック原稿の影や枠線などを消す（ブック枠消し）

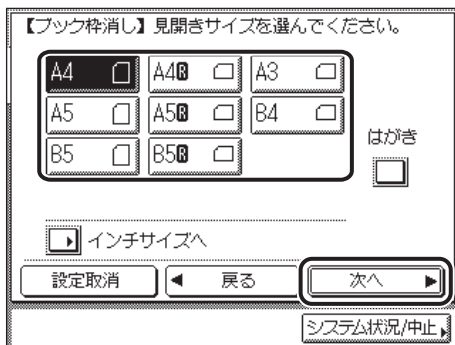
ブック原稿などをコピーするとき、コピーする用紙の周囲と中央にできる影や枠線を消します。

重要　ブック枠消しは、縮小レイアウト、原稿サイズ混載と組み合わせた設定はできません。

1 **応用モードの［枠消し］を押します。**

2 **［ブック枠消し］を押したあと、［次へ］を押します。**

3

便利なコピーの使いかた

3 ブック原稿を開いたときのサイズを選択したあと、［次へ］を押します。

重要　ブック枠消しコピーできる原稿は、表示されている原稿サイズのみです。

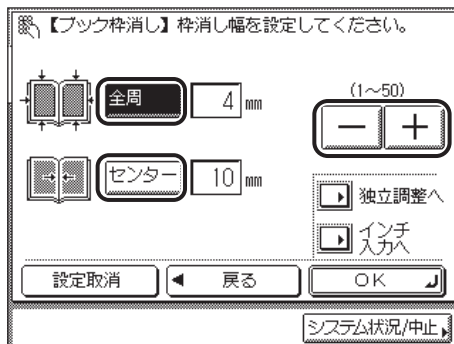
メモ
- はがきを選択する場合は、［はがき］を押します。
- インチサイズを選択する場合は、［インチサイズへ］を押します。

4 ［－］［＋］を押して枠消しする幅を設定します。

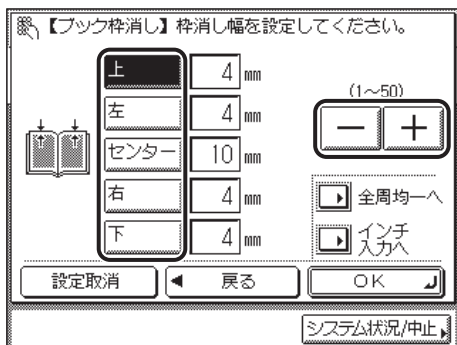
⓪～⑨（テンキー）で入力する場合は、設定できる範囲外の数値を指定すると、適切な範囲での設定を促すメッセージが表示されます。

メモ
- 初期設定ではブック枠消し幅はセンター10 mm、上下左右と全周はそれぞれ4 mmに設定されています。最大で50 mmまで設定できます。
- インチ単位で入力する方法は、ユーザーズガイド「第2章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

● 原稿の周囲を均一に枠消しする場合

❑ ［全周］、［センター］の各キーを押して、［－］［＋］で枠消しする幅を設定します。

● **原稿のセンター、上、下、左、右側を別べつに指定して枠消しする場合**

❑ ［独立調整へ］を押します。

❑ 枠消しする向きを選択して、［－］［＋］を押して枠消しする幅を設定します。

原稿の周囲を均一に指定する画面に戻すには、［全周均一へ］を押します。

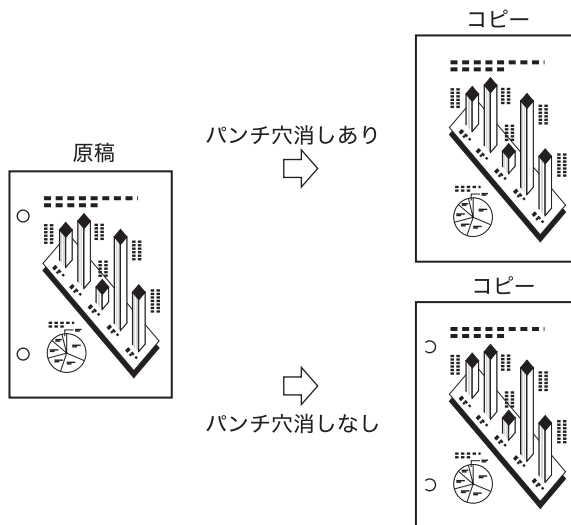
5 **［OK］を押します。**

指定したモードが設定されます。

パンチ穴の影などを消す（パンチ穴消し）

パンチ穴があいている原稿をコピーするとき、コピーする用紙にできるパンチ穴の影を消します。

3

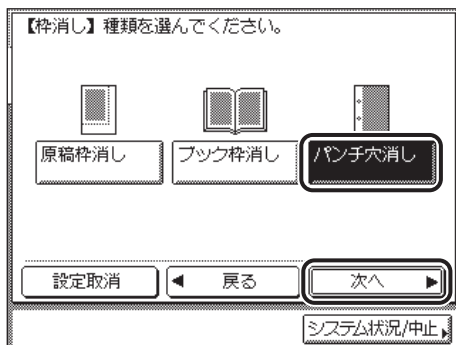
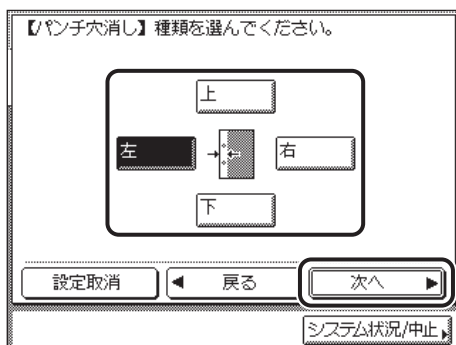
便利なコピーの使いかた

重要

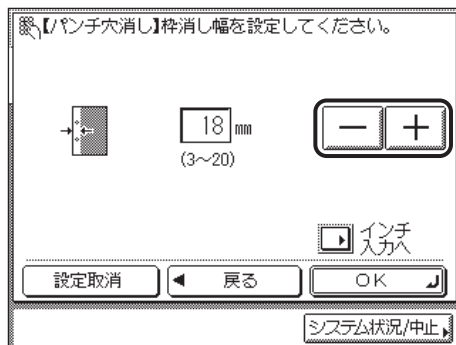
- パンチ穴消しは、ページ連写両面、ページ連写、原稿サイズ混載と組み合わせた設定はできません。
- パンチ穴のあいた原稿は、原稿を破損する恐れがありますので、フィーダにはセットしないでください。
- パンチ穴消しは、指定していない辺もわずかに枠消しされます。

---

1 応用モードの［枠消し］を押します。

重要　原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

2 ［パンチ穴消し］を押したあと、［次へ］を押します。

3 原稿のパンチ穴があいている位置を指定したあと、［次へ］を押します。

指定する位置は、原稿台ガラスの奥側を上にして見たときのパンチ穴の位置です。

4 ［－］［＋］を押してパンチ穴消しする幅を設定します。

⓪〜⑨（テンキー）で入力する場合は、設定できる範囲外の数値を指定すると、適切な範囲での設定を促すメッセージが表示されます。

メモ

- 初期設定では、パンチ穴消し幅は 18 mm に設定されています。最大で 20 mm まで設定できます。
- インチ単位で入力する方法は、ユーザーズガイド「第 2 章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。

5 ［OK］を押します。

指定したモードが設定されます。

異なるサイズの原稿を一度にコピーする（原稿サイズ混載）

A3 と A4、B4 と B5 などタテ方向の長さが同じでヨコ方向の長さが異なるサイズ（同じ幅）の原稿や、A3 と B4、A4 と B5 などひとまわり異なるサイズ（違う幅）の原稿を一度にコピーすることができます。

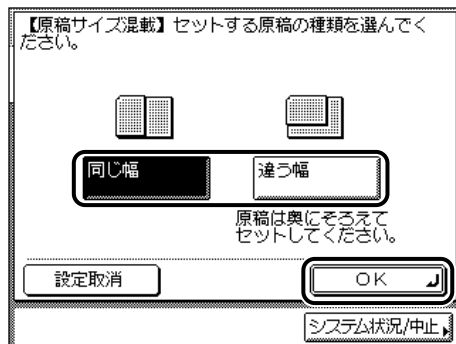
重要

- 原稿サイズ混載は、ページ連写両面、ページ連写、縮小レイアウト、枠消しと組み合わせた設定はできません。
- フィーダには、同じ厚さ（紙質）の原稿をセットしてください。
- 違う幅の原稿は、フィーダの奥側にそろえてセットしてください。
- 違う幅の原稿は、以下の組み合わせでセットしてください。それ以外の組み合わせでは、原稿を破損することがあります。
  ・A3 と B4、B4 と A4R、A4 と B5、B5 と A5
- 違う幅の原稿をセットしてコピーする場合は、画像がずれて斜めにコピーされることがあります。
- このモードが設定されているときは、原稿の読み取り時間が長くなることがあります。
- 違う幅の原稿をセットして、それぞれの用紙サイズでプリントする場合、ステイプルを行わない場合があります。
- 原稿サイズ混載を設定した場合は、オートタテヨコ回転は行いません。

メモ

片面▶両面と組み合わせたときに、表と裏になる原稿が異なるサイズの場合は、それぞれのサイズにあった用紙に片面コピーされます。

1 **応用モードの［原稿サイズ混載］を押します。**

2 原稿サイズ混載の種類を押したあと、［OK］を押します。

選択する項目

同じ幅の原稿をセットした場合は、［同じ幅］を押します。

違う幅の原稿をセットした場合は、［違う幅］を押します。

指定したモードが設定されます。

画像のエッジをくっきりさせる（シャープネス）

画質のシャープネスを調節します。文字や線を鮮明にする場合は「強く」に、写真などの網点原稿をきれいにする場合は「弱く」に調節します。

■ **弱く**

「写真」モードを使用して、印刷写真などのように網点からなる原稿をコピーすると、モアレと呼ばれるまだら模様が出ることがあります。「弱く」を押してコピーすると、このようなモアレ現象を弱めます。

原稿　　コピー（設定あり／設定なし）

Resort Plan

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together.

設定あり

Resort Plan

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together.

設定なし

Resort Plan

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together.

■ **強く**

原稿の画像のエッジを強調して、薄い文字や細かい文字をはっきりさせます。青焼き原稿や薄い鉛筆書きの原稿などのコピーに適しています。

原稿　　コピー（設定あり／設定なし）

Resort Plan

The world's coral reefs, where brilliantly colored fish and a myriad of other tropical creatures come together.

Aptly nicknamed "Tropical Forests under the sea", these spots of breathtaking beauty serve as home to countless varieties of life, and to us of the land, this alluring, dream-like world forms a tropical paradise filled with romance.

1 **応用モードの［シャープネス］を押します。**

2 **［弱く］［強く］を押してシャープネスを調節したあと、［OK］を押します。**

文字や線を鮮明にコピーする場合は「強く」に、印刷写真などの網点をきれいにコピーする場合は「弱く」に調節します。

指定したモードが設定されます。

コピーモードの登録／呼び出し（モードメモリ）

組み合わせのコピーモードを４個まで、名称をつけて登録することができます。
よく使うコピーモードを登録しておくと便利です。

メモ　いったん登録したコピーモードは、電源を OFF にしても消えません。

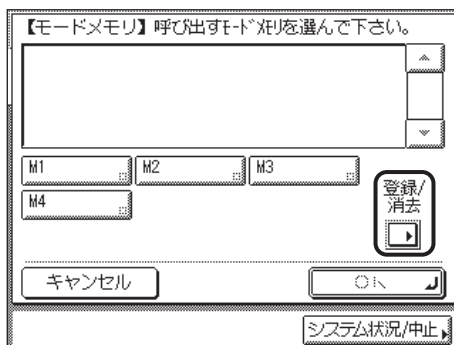
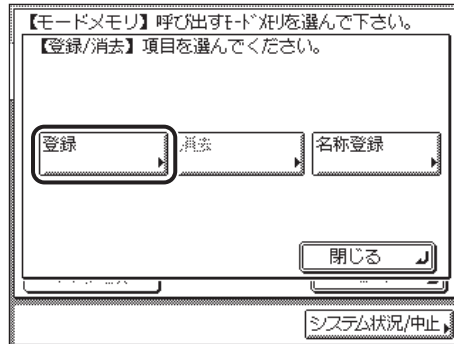
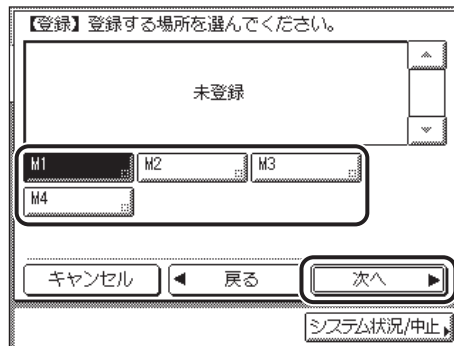
3

便利なコピーの使いかた

コピーモードの登録

1 **登録するコピーモードをコピー基本画面または応用モード画面で設定します。**

2 **応用モードの［モードメモリ］を押します。**

3 **［登録 / 消去］を押します。**

4 ［登録］を押します。

5 登録したいメモリキー（［M1］～［M4］）を選択したあと、［次へ］を押します。

メモ

- すでにコピーモードが登録されているメモリキーには、キーの右下の黒い四角（■）が表示されます。
- すでに登録されているメモリキーを選択したときは、登録内容が表示されます。
- 表示されているモード以外に登録されているモードがあるときは、［▼］［▲］を押して確認することができます。

● **まだ登録されていないメモリキーを選択した場合**

❑ 登録してよいかどうか、確認のメッセージが表示されるので、[はい] を押します。

登録を中止する場合は、[いいえ] を押します。

「登録しました。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

登録したメモリキーの右下の黒い四角（■）が表示され、登録した内容が表示されます。

● **すでに登録されているメモリキーを選択した場合**

❑ 上書きしてよいかどうか、確認のメッセージが表示されるので、[はい] を押します。

登録を中止する場合は、[いいえ] を押します。

「登録しました。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

登録した内容が表示されます。

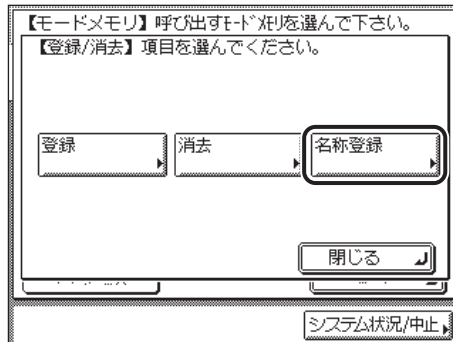
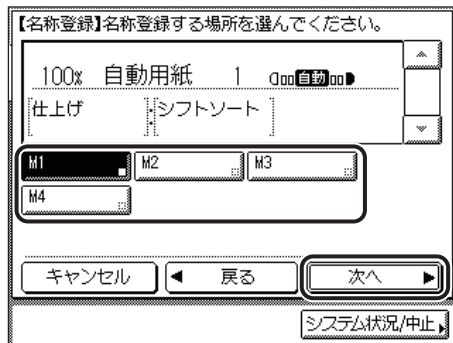
6 **[キャンセル] を押します。**

メモリキーの名称登録

1 **応用モードの［モードメモリ］を押します。**

2 **［登録 / 消去］を押します。**

この手順の画面を確認する場合は、「コピーモードの登録」(➞ P.3-22) 手順 3 を参照してください。

3 **［名称登録］を押します。**

4 **名称を登録するメモリキー（[M1］～［M4]）を選択したあと［次へ］を押します。**

3

便利なコピーの使いかた

メモ

- すでにコピーモードが登録されているメモリキーには、キーの右下に黒い四角（■）が表示されます。
- すでに登録されているメモリキーを選択したときは、登録内容が表示されます。
- モードメモリの設定が「未登録」のキーにも名称は登録できます。
- 表示されているモード以外に登録されているモードがあるときは、［▼］［▲］を押して確認することができます。

5 新しい名称を入力したあと、［OK］を押します。

「かな漢」「カタカナ」「英字」「記号」「コード入力」モードで、半角10文字、全角5文字まで登録できます。「カタカナ（半角）」で入力した濁点（゛）、半濁点（゜）は半角1文字分に数えます。

メモリキーに登録した名称が表示されます。

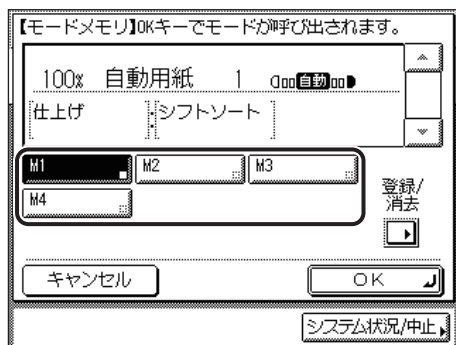
メモ

- 文字を入力する方法は、ユーザーズガイド「第2章　おもな機能と基本的な使いかた」を参照してください。
- 文字を入力していない状態で［OK］を押すと、メモリキーの名称はM1～M4になります。

6 ［キャンセル］を押します。

コピーモードを呼び出す

1 **応用モードの［モードメモリ］を押します。**

2 **必要なモードが登録されているメモリキーを選択します。**

登録してある内容が表示されます。

3 **登録内容を確認したあと、［OK］を押します。**

選択したメモリキーにコピーモードが登録されていない場合は、［OK］はグレーアウトになり、押すことはできません。他の登録したキーを選択するか、［キャンセル］を押してください。

指定したモードが設定されます。

メモ

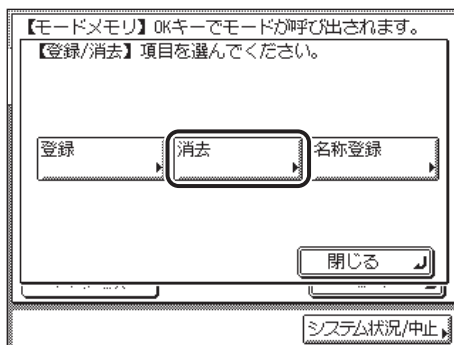
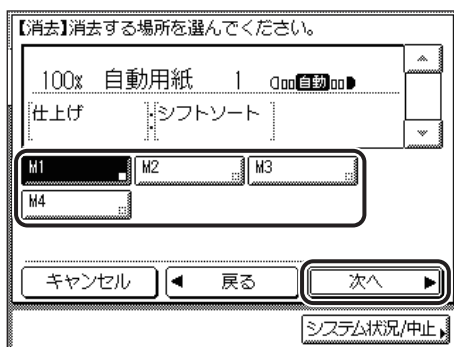
- コピーモードが呼び出されると、それまで設定されていたコピーモードは消去され、新たに呼び出したコピーモードが設定されます。
- 呼び出したコピーモードを任意に変更してコピーすることができます。
- 他のメモリキーを押すと、そのキーに登録されているコピーモードが呼び出されます。

コピーモードの消去

1 **応用モードの［モードメモリ］を押します。**

2 **［登録 / 消去］を押します。**

この手順の画面を確認する場合は、「コピーモードの登録」(➞ P.3-22) 手順 3 を参照してください。

3 **［消去］を押します。**

4 **消去するメモリキーを選択したあと、［次へ］を押します。**

消去してもよいかどうか、確認するメッセージが表示されます。

重要 消去する内容を確認してください。

メモ

- すでにコピーモードが登録されているメモリキーには、キーの右下の黒い四角（■）が表示されます。
- すでに登録されているメモリキーを選択したときは、登録内容が表示されます。
- 表示されているモード以外に登録されているモードがあるときは、[▼][▲]を押して確認することができます。

5 [はい]を押します。

消去しない場合は、[いいえ]を押します。

「消去しました。」というメッセージが約2秒間表示されます。

登録されていたコピーモードが消去されます。

メモ

メモリキーの名称は消去されません。名称を変更する場合は「メモリキーの名称登録」(→ P.3-25)を参照してください。

6 [キャンセル]を押します。

使いかたにあわせた仕様の設定

工場出荷時の設定を使いかたにあわせて変更する方法について説明しています。

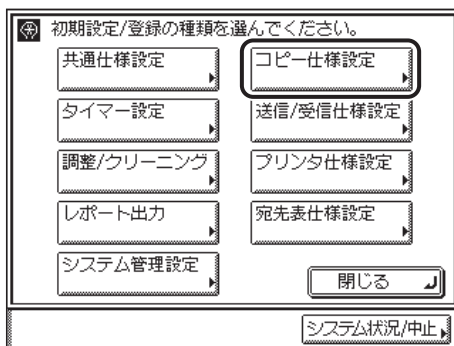
初期設定 / 登録とは

本製品のさまざまな設定を使用する条件や環境に合わせて変更することができます。

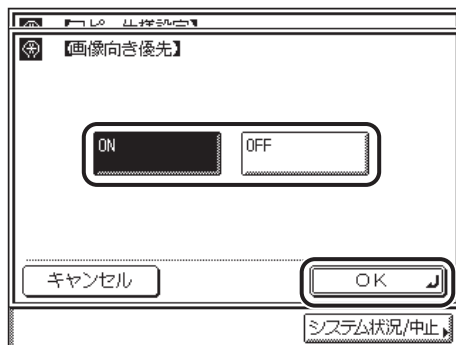
メモ　設定した内容は、(リセット)を押しても変更されません。

1 (初期設定 / 登録)を押します。

初期設定 / 登録画面が表示されます。

2 初期設定 / 登録の種類を選択します。

3 設定する項目を選択します。

各キーを押して設定できる内容は、「コピー仕様設定一覧表」(→ P.4-4)を参照してください。

4 初期設定 / 登録を設定したあと、［OK］を押します。

指定した内容が設定されます。

5 基本画面に戻るまで［閉じる］を押していきます。

コピー仕様設定を使いかたにあわせて変更する

コピー仕様設定一覧表

コピー仕様設定で登録／設定できる項目を以下に示します。

ユーザモード項目	設定項目	参照ページ
画像向き優先	ON、OFF*	P.4-4
オートタテヨコ回転	ON*、OFF	P.4-5
標準モードの変更	登録、初期化	P.4-5
コピー仕様設定の初期化	初期化	P.4-7

* マークは工場出荷時の設定です。

メモ　本書に記載されていないモードの設定のしかたについては、別冊の取扱説明書を参照してください。（→取扱説明書の分冊構成について）

画像向き優先を設定する

コピーのモードによってはプリント結果が原稿の向きと異なってしまうことがあります。［画像向き優先］を ON にすると、原稿の向きにあわせてプリントすることができます。

メモ　工場出荷時は、「OFF」に設定されています。

1 （初期設定 / 登録）→［コピー仕様設定］→［画像向き優先］の順に押します。

2 ［ON］または［OFF］を選択したあと、［OK］を押します。

指定したモードが設定されます。

オートタテヨコ回転を設定する

原稿サイズと倍率などから計算された画像を自動的に回転させ、セットしてある用紙にプリントします。

メモ　工場出荷時は、「ON」に設定されています。

1 **（初期設定 / 登録）→［コピー仕様設定］→［オートタテヨコ回転］の順に押します。**

2 **［ON］または［OFF］を選択したあと、［OK］を押します。**

指定したモードが設定されます。

メモ
- A4、B5、A5 サイズの原稿を A3、B4 サイズ用紙に拡大コピーするときは、原稿を A4R、B5R または A5R の指標にあわせ、ヨコ置きにセットします（オートタテヨコ回転が「ON」に設定されていても機能しません）。
- 「OFF」に設定したときに、A3、B4 サイズの原稿を A4、B5 サイズの用紙に縮小コピーする場合は、カセットまたは手差しトレイに A4R、B5R の用紙をセットしてください。
- 回転できる原稿サイズは、等倍の場合は A4 以下の定形サイズのみです。
- 自動用紙選択とオートタテヨコ回転を「ON」に設定した場合、同じサイズの用紙があれば、セットされている向きが異なっても最適の用紙として表示されます。

標準モードを変更する

標準モードとは電源を入れたり、（リセット）を押したときに設定されている機能の組み合わせ（コピーモード）です。

ここでは、標準モードとして登録されているコピーモードの変更をします。また、標準モードを工場出荷時の設定に戻すこともできます。

メモ　工場出荷時は、次のように設定されています。
・コピー部数：1
・用紙選択：自動用紙選択
・濃度／画質：自動
・倍率：等倍（100 %）
・コピー：片面原稿 → 片面コピー

標準モードを登録する

標準モードの登録をします。登録するコピーモードをあらかじめ設定しておきます。

1 **（初期設定 / 登録）→［コピー仕様設定］→［標準モードの変更］の順に押します。**

2 **［登録］を押します。**

3 **［はい］を押します。**

表示されている設定内容を標準モードとして登録しない場合は、［いいえ］を押します。

「登録しました。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

表示されている設定内容が登録されます。

メモ　ここで表示されるのは、現在設定されているコピーモードです。表示領域に収まらないコピーモードは［▼］［▲］を押すと表示されます。

4 **［閉じる］を押します。**

標準モードを初期化する

標準モードを工場出荷時の設定に戻します。

1 **（初期設定 / 登録）→［コピー仕様設定］→［標準モードの変更］の順に押します。**

2 **［初期化］を押します。**

3 **設定内容を確認したあと、［はい］を押します。**

標準モードを初期化しない場合は、［いいえ］を押します。

「初期化しました。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

標準モードが初期化されます。

4 **［閉じる］を押します。**

コピー仕様設定を初期化する

コピー仕様設定の各項目を、工場出荷時の設定に戻します。（➞ コピー仕様設定を使いかたにあわせて変更する：P.4-4）

1 **（初期設定 / 登録）➞［コピー仕様設定］➞［コピー仕様設定の初期化］の順に押します。**

2 **［はい］を押します。**

初期化しない場合は［いいえ］を押して、コピー仕様設定画面に戻ります。

「初期化しました。」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

コピー仕様設定が初期化されます。

5
CHAPTER

付録

機能組み合わせ表、索引を記載しています。

機能組み合わせ表

ある機能が先に設定されていて、あとから他の機能を設定しようとした場合に、どのような設定になるかを表しています。

□ 組み合わせ可能
× 組み合わせ不可
▲ 後入力優先
● 縮小レイアウト優先（倍率変更可能）

設定しようとする機能 ＼ 設定されている機能	定形変倍	ズーム変倍	自動変倍	自動濃度調節	文字	文字/写真	写真	自動用紙選択	自動用紙選択、オートタテヨコ回転	オートカセットチェンジ	手差し	ソート	グループ	回転ソート	回転グループ	シフトソート	シフトグループ	ステイプルソート	予約コピー	片面▶両面	両面▶両面	両面▶片面	ページ連写両面	ページ連写	縮小レイアウト	原稿枠消し	ブック枠消し	パンチ穴消し	原稿サイズ混載	シャープネス
定形変倍		▲	▲																						●					
ズーム変倍	▲		▲																						●					
自動変倍	▲	▲						×	×																					
自動濃度調節					▲	▲	▲																							
文字				▲		▲	▲																							
文字/写真				▲	▲		▲																							
写真				▲	▲	▲																								
自動用紙選択			×						▲		▲			×	×										×					
自動用紙選択、オートタテヨコ回転			×					▲						×	×										×				×	
オートカセットチェンジ											*3																			
手差し								▲		*3		*2	*2	*1	*1	*3	*3	*3		*3	*3		*3	*3	*3					
ソート											*2		▲	▲	▲	▲	▲	▲												
グループ											*2	▲		▲	▲	▲	▲	▲												
回転ソート								×	×		*1	▲	▲		▲	×	×	×												
回転グループ								×	×		*1	▲	▲	▲		×	×	×												
シフトソート											*3	▲	▲	×	×		▲	▲												
シフトグループ											*3	▲	▲	×	×	▲		▲												
ステイプルソート											*3	▲	▲	×	×	▲	▲													
予約コピー																														
片面▶両面											*3										▲	▲	▲	×	×					
両面▶両面											*3									▲		▲	▲	×	×					
両面▶片面																				▲	▲		▲	×	×					
ページ連写両面											*3									▲	▲	▲		×	×			×	×	
ページ連写											*3									×	×	×	×		×			×	×	
縮小レイアウト	●	●						×	×		*3									×	×	×	×	×		×	×		×	
原稿枠消し																									×		▲	▲	×	
ブック枠消し																									×	▲		▲	×	
パンチ穴消し																							×	×		▲	▲		×	
原稿サイズ混載									×														×	×	×	×	×	×		
シャープネス																														

*1：A4、A4R、B5、B5R の普通紙、色紙、再生紙、厚紙 1 のみ組み合わせて設定することができます。

*2：封筒、はがき選択時は組み合わせて設定することはできません。

*3：ユーザ設定、封筒、はがき選択時は組み合わせて設定することはできません。

索引

英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間]　〈平日〉9:00～20:00
〈土日祝祭日〉10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

USRM1-2221-00